

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

目 次

はじめに	1
沿革	2
寄付件数等一覧	3
本部	4
北陸支部	18
東海支部	22
東京支部	28
岐阜支部	32
中日青葉学園	38
高額寄託者・一般	54
高額寄託者・指定	55

はじめに

社会福祉法人中日新聞社会事業団は本部並びに北陸、東海、東京、岐阜の4支部と児童福祉施設「中日青葉学園あおば館」、児童心理治療施設「中日青葉学園わかば館」（どちらも愛知県日進市）の運営など幅広い活動を行っています。

29年度は法人創立80周年を迎えたことを機に、イメージキャラクターの作製や特集紙面、ホームページの充実により、これまで以上に社会事業団の周知を図りました。社会福祉事業の見直しも引き続き行い、ファミリーホームなど児童福祉を中心とした支援を充実しました。

未だに続く東日本大震災義援金をはじめ、九州北部豪雨災害義援金の募集も行い、多くの寄付が寄せられました。義援金だけでなく、東日本復興支援金の配分も行い、東日本大震災発生時から変化している「求められる支援」の形に合わせて柔軟に対応していく必要性も強く感じています。

新しい事業、新しい取り組みとともに、変わらずに必要な支援と合わせ、事業団の活動の意義を示していくことが必要です。周知を元に、これまで以上に多くの寄付金を寄せていただけるよう目に見える活動を充実させ、さらに活動の幅と質も高めていきます。

日頃より、ご支援、ご協力をいただいている皆様方に感謝を申し上げ、透明性のある法人運営、事業展開を通じ、さらに理解を深めていただき、一層地域に根ざした社会福祉法人を目指していきます。

平成30年5月

社会福祉法人 中日新聞社会事業団

中日新聞社会事業団の沿革

社会福祉法人中日新聞社会事業団は、昭和11年12月設立の財団法人名古屋新聞善行会、翌年4月設立の社団法人新愛知社会事業団から始まり、社団法人中部日本弘徳会を前身とし、社会福祉法人中部日本新聞社会事業団を経て、昭和49年に現在の名称となった。昭和32年の事業団創立20周年を機に虚弱児施設の建設を決め、昭和35年、愛知県日進市に「中日青葉学園」の運営を開始した。

現在、施設経営のほか、本部、北陸・東海・東京・岐阜の4支部において年間228件の主催、共催、後援事業を行っている。障害者や難病者の自立、社会参加への支援、生活保護家庭や施設入所児童の援助など地域福祉から災害地支援まで、幅広い社会貢献を行っている。

昭和18年7月	財団法人「名古屋新聞善行会」と社団法人「新愛知社会事業団」が合併し、社団法人「中部日本弘徳会」を設立
昭和21年12月	社団法人「中部日本新聞社会事業団」を設立
昭和26年2月	同「中部日本新聞岐阜社会事業団(後に中日新聞岐阜社会事業団に改称)」を設立
昭和34年1月	沢井秀次氏と日進町岩崎区から土地(13,034㎡)の寄付を受ける
昭和35年4月	虚弱児施設中日青葉学園として児童定数30人、職員7人で事業開始
昭和35年7月	社会福祉法人「中部日本新聞社会事業団」として厚生省から認可
昭和37年1月	中日青葉学園を増築し、児童定数70人に増員
昭和49年6月	社会福祉法人「中日新聞社会事業団」と改称
昭和54年12月	中日新聞社会事業団北陸支部(金沢市)を設立
昭和57年3月	日本自転車振興会の補助と社会福祉・医療事業団から建設資金を借り入れ、中日青葉学園全面改装
昭和58年11月	中日新聞社会事業団東海支部(浜松市)を設立
昭和59年12月	年末助け合い運動の一環として、美術品チャリティー販売の「第1回郷土の美術家100人展」を松坂屋本店で開催する
昭和63年3月	中日新聞社会事業団東京支部(東京都千代田区)を設立
平成10年4月	児童福祉法の改定により児童養護施設中日青葉学園となる
平成12年5月	社団法人「中日新聞岐阜社会事業団」解散 中日新聞社会事業団岐阜支部(岐阜市)として設立
平成12年6月	「中日福祉ボランティア賞」(愛・三・岐対象)創設
平成15年10月	中日青葉学園の新園舎が竣工し、児童養護施設に児童心理治療施設を併設、複合施設として新たなスタート
平成18年3月	日本自転車振興会からの補助で小・中学校青葉分校新教育棟新築
平成22年4月	児童養護施設「中日青葉学園」創設50周年を迎える
平成28年10月	中日青葉学園園舎内外塗装工事
平成29年	事業団創立80周年を迎える

《主な災害義援金》

☆阪神大震災義援金	平成7年1月18日～8月18日	84,104件	5,790,979,873円
☆東海豪雨災害義援金	平成12年9月24日～11月10日	2,209件	421,966,342円
☆新潟県中越地震義援金	平成16年10月25日～17年3月31日	7,865件	663,011,769円
☆新潟県中越沖地震義援金	平成19年7月17日～12月13日	1,490件	120,294,971円
☆東日本大震災義援金	平成23年3月12日～30年3月31日	94,786件	9,072,603,863円
☆熊本地震義援金	平成28年4月15日～6月30日	13,932件	1,091,554,693円
☆九州北部豪雨災害義援金	平成29年7月11日～7月31日	2,025件	75,293,523円

事業件数

	主 催	共 催	後 援	合 計
本 部	5	23	128	156
北 陸 支 部	5	1	1	7
東 海 支 部	9	0	8	17
東 京 支 部	2	2	6	10
岐 阜 支 部	10	7	21	38
合 計	31	33	164	228

寄付金収入一覧

(単位：円)

	本 部		北 陸 支 部		東 海 支 部		東 京 支 部		岐 阜 支 部		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
一 般 寄 付 金	382	207,865,334	75	657,220	25	745,297	14	1,065,866	40	3,053,356	536	213,387,073
年 末 助 け 合 い	266	20,807,646	48	931,101	70	2,559,093	37	1,084,814	61	2,210,630	482	27,593,284
指 定 寄 付 金	196	22,581,163	15	131,326	7	415,192	31	4,545,942	8	1,095,000	257	28,768,623
災 害 義 援 金	1,703	61,348,456	42	1,106,307	94	5,094,549	635	19,782,475	240	5,369,461	2,714	92,701,248
合 計	2,547	312,602,599	180	2,825,954	196	8,814,131	717	26,479,097	349	11,728,447	3,989	362,450,228

主な災害義援金と指定寄付金累計

東日本大震災義援金

(平成23年3月12日～平成30年3月31日)

	件数	金額
本 部	64,288	7,486,312,355
北 陸 支 部	1,894	82,430,005
東 海 支 部	6,044	493,615,399
東 京 支 部	7,478	207,272,790
岐 阜 支 部	15,082	802,973,314
合 計	94,786	9,072,603,863

東日本復興支援金

(平成26年8月11日～平成30年3月31日)

	件 数	金 額
本 部	511	42,979,259
北 陸 支 部	0	0
東 海 支 部	5	86,149
東 京 支 部	57	4,106,217
岐 阜 支 部	128	3,755,340
合 計	701	50,926,965

※震災翌日からの合計金額

九州北部豪雨災害義援金

(平成29年7月11日～7月31日)

	件 数	金 額
本 部	1,297	50,973,105
北 陸 支 部	24	653,900
東 海 支 部	58	3,573,103
東 京 支 部	469	16,529,221
岐 阜 支 部	177	3,564,194
合 計	2,025	75,293,523

本部(名古屋)

社会事業団本部では、各支部と緊密な連絡をとりながら、スムーズな運営に取り組んできた。また、中日新聞名古屋本社と連携し、平成29年度は156件に及ぶ福祉事業を主催・共催・後援し、地域に密着した取り組みを行った。

◇社会福祉事業

(1) 児童福祉施設等支援事業

・第8回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会

(12月25日・武田テバオーシャンアリーナ)

日頃の練習成果を発揮するとともに、フットサルを通じて児童同士の交流を深めることを目的に開催した。15施設、25チームで約260人が参加した。

共催：愛知県児童福祉施設長会



ボールを追う子どもたち

・第60回福祉施設「海の家」(7月21日～29日・篠島海水浴場＝南知多町)

心身の健やかな発達を促進することを目的に、名古屋市内の児童福祉施設、知的障害者支援施設の入所児童を招待する事業を支援した。21施設延べ約700人の児童が参加した。

主催：名古屋市、

名古屋市児童養護連絡協議会



海で遊ぶ子どもたち

そのほか、愛知県児童福祉施設長会や名古屋市児童養護連絡協議会などが主催する文化、スポーツ事業(音楽の集い、運動会など)に対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

(2) 第14回名古屋市老人福祉施設作品展

(11月15日～19日・名古屋市民ギャラリー矢田)

名古屋市内の老人福祉施設を利用しているお年寄りが趣味で制作した絵画、書、手芸作品など約3,000点を展示した。手作り体験コーナーや介護相談、福祉講演会などの事業も合わせて行い、会期中に延べ約4,800人が観覧した。

共催：名古屋市老人福祉施設協議会ほか

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 児童

・交通遺児支援事業

「交通遺児のために役立てて」と個人や企業から寄せられた寄付金をもとに交通事故で親を亡くした子どもたちを励ますために行う支援事業。東海交通遺児を励ます会が把握している遺児は東海三県で約500人。



カヌーを楽しむ交通遺児たち

7月：大相撲名古屋場所に招待

8月：サマーカヌーキャンプ
(滋賀県近江八幡市)

12月：交通遺児を励ます大会

3月：中学を卒業する交通遺児を励ます集い

b. 障がい者

地域社会での障がい者福祉の増進、理解および交流を深めることを目的に、肢体・聴覚・視覚・精神・知的などの障がい者団体が主催する講演会、シンポジウム、研修事業などに対して中日新聞紙面で紹介するなどの支援や助成金などを贈呈した。

c. 高齢者

・第6回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム

(2月14日・中日パレスクラウンホール)

「20・30年後の社会 超少子高齢・人口減少社会をふまえて」をテーマに、住まい、移動手段などについてシンポジウムや活動報告を実施した。福祉関係者や関心のある人約220人が参加した。



会場の様子

共催：愛知県社会福祉協議会

d. その他

・第9回福祉の星フォーラム（9月24日・中日新聞本社6階ホール）

「福祉」のイメージアップと福祉人材の確保を目指し、講演会と現場で働く若者らによるシンポジウムを開催した。元NHKアナウンサーで医療型短期入所施設「もみじの家」ハウスマネージャーの内多勝康さんの講演、日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員・渡辺哲雄さんをコーディネーターに迎えディスカッションを行った。約230人が参加し、交流も深めた。



講演中の講師

共催：愛知県社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 児童

・第67回児童園遊会（5月6日・東山動植物園）

児童福祉週間事業の一つとして、名古屋市内の生活保護受給世帯、母子生活支援施設等入所世帯、宿所提供施設の入所世帯の小学校1年生から3年生の児童139人を招待した。

共催：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

・母子寡婦福祉大会「中日賞」贈呈（岐阜・三重県）

母子福祉向上を目指す母子寡婦福祉大会において、他の模範となる優良母子家庭の表彰として「中日賞」を岐阜（7月10日・岐阜市民会館）、三重（11月19日・「まなびの郷」きらめきホール）、各県2名、計6名に贈呈した。愛知県は全国大会開催のため表彰なし。



岐阜県の受賞者

b. 障がい者

・第55回特別支援教育展「きらめき展」（2月20日～25日・名古屋市博物館）

障害児教育への理解と認識を深めてもらうことを目的として開催。今回は「笑顔 ひろがる 明日へ」をテーマに名古屋市内の特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室などで学んでいる児童・生徒らの個性あふれる作品を展示した。



展示会場

共催：名古屋市教育委員会、
同特別支援教育研究協議会

・第22回長良川ふれあいマラソン大会（10月1日・木曽三川公園）



スタート時の参加者

障がい者と健常者が共に参加できるマラソン大会。ふれあいを図り、障がい者福祉についての関心を深めることを目的に実施した。愛知、三重、岐阜の各県を中心に関東、関西地区などから約1,000人が参加した。

共催：長良川ふれあいマラソン実行
委員会
連携：岐阜支部

c. その他

・年末助け合いチャリティー「第34回郷土の美術家100人展」

(12月5日～6日・松坂屋名古屋店南館 マツザカヤホール)

東海三県下で活躍する日本画、洋画、工芸、書の各部門の実力作家や、この地方にゆかりのある人気作家の最新作をチャリティー特別価格で販売した。多くの美術愛好家にご購入いただき、地域の社会福祉のために役立てている。



工芸作家・山内章平さんと作品

・年末助け合い運動

(11月27日～12月28日・中日新聞支社、総・支局、通信部・局)

年末の約1ヶ月をキャンペーン期間とし、266件、20,807,646円が寄せられた。愛知、岐阜、三重各三県の生活保護家庭の小中学生にお年玉を贈るほか、福祉事業に助成した。



年末助け合い運動をPRするドアラ

・助成を希望する公益事業に対する支援

▽第39回生活保護家庭の小中学生に「お年玉」を贈呈

12月下旬に愛知、岐阜、三重の各県と名古屋市に在住する生活保護家庭の小・中学生合わせて、5,898人に、各県市の福祉事務所を通じて「お年玉」（小学生1,000円、中学生2,000円）を贈呈した。（昭和54年から継続）

	小学生		中学生		合計	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
愛知県	1,134	1,134,000	616	1,232,000	1,750	2,366,000
岐阜県	273	273,000	181	362,000	454	635,000
三重県	577	577,000	353	706,000	930	1,283,000
名古屋市	1,700	1,700,000	1,064	2,128,000	2,764	3,828,000
合計	3,684	3,684,000	2,214	4,428,000	5,898	8,112,000

▽第61回東海地区特別支援教育振興資金贈呈



特別支援教育研究団体への贈呈

(6月8日・中日新聞名古屋本社)

心身障害児や高機能自閉症児、学習障がい(LD)児らの教育研究、実践啓発活動を行っている愛知、岐阜、三重、静岡の各県と名古屋市の5つの特別支援教育研究団体に研究助成金として1団体20万円を贈呈した。

▽第43回難病者激励金贈呈

成田山名古屋別院大聖寺(犬山市)と同信徒団体「索(なわ)の会」から寄託された激励金(2,657,771円)を計20の難病者団体に贈呈した。愛知県8団体(10月16日)、岐阜県3団体(10月24日)、三重県6団体(11月7日)。



愛知県の10団体

県	団体名	県	団体名
愛知	NPO法人愛知県難病団体連合会	岐阜	岐阜県心臓病児者の会
	日本二分脊椎症協会東海支部		岐阜県パーキンソン病友の会
	一般社団法人愛知県腎臓病協議会		NPO法人岐阜県腎臓病協議会
	全国筋無力症友の会愛知支部	三重	NPO法人三重難病連
	日本てんかん協会愛知県支部		みえIBD
	愛知県肝友会		SCD・MSA三重の会
	口唇口蓋裂を考える会(たんぽぽ会)		公益社団法人日本てんかん協会三重県支部
	東海脊髄小脳変性症友の会		日本マルファン協会三重支部
	三重県下垂体友の会		

(3) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対し、翌日の12日から義援金の受け付けを行い、本部に寄せられた義援金は、平成30年3月31日現在で64,288件、7,486,312,355円となった。他支部に寄せられた義援金と合わせて9,068,722,096円を各県に贈った。宮城（18回：4,755,925,000円）、岩手（18回：2,332,175,000円）、福島（17回：1,755,622,096円）、千葉（1回：1億円）、茨城（7回：125,000,000円）。

・東日本復興支援金

行政の支援の行き届かない東日本大震災被災地支援団体などを支援する「東日本復興支援金」を平成26年8月に創設。第3回目の配分として下記の3団体に贈った。

団体名	所在地
NPO法人いわて連携復興センター	岩手県北上市
一般社団法人みやぎ連携復興センター	仙台市
一般社団法人ふくしま連携復興センター	福島市

・九州北部豪雨災害義援金

平成29年7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨による災害に対し、本部に寄せられた義援金は1,297件、50,973,105円となった。他支部から寄せられた義援金と合わせて総額75,293,523円を福岡県と大分県に贈った。

(4) その他

・イメージキャラクター「ロボラ」作製

80周年を記念して、イメージキャラクターを作製。社会事業団のPRに活躍した。

ロボラとは…困っている人に手を差し伸べる、心優しきコアアラ型ロボットヒーロー！

体には人助けのためのあらゆる機能が搭載されている。とっても温厚で、おっとりした性格。しかし困っている人がいたら、どんなことがあってもたすける！と心に誓っている。



「つなぐ善意」として、(上) (中) (下)の3回特集記事を掲載した。



つなぐ善意

中日新聞社会事業団 80年

下

小銭でいっぱい貯金を持ち込んだほか、小中学生が学校で小遣いを集めたケースも多かった。家で長年、小銭をためた開封できない缶の貯金箱を持ち、当時で戦後最大の子供たちが、名古屋市中区の社会福祉法人「中日新聞社会事業団」に次々と訪れた。東日本大震災の翌日、二〇一一年三月十日、土曜日にもかかわらず、朝から「義援金を届けたい」と電話が殺到した。この状況は二カ月以上も続いた。企業が多額の義援金を集め、全国から支援があった。今も「伊勢湾台風の後にお世話になった」と義援金を持参する人がいる。ただ、伊勢湾台風が超えた。新聞社が関わ

る社会事業の中で全国でも突出して多い。一九九五年の阪神大震災の時も同じで、週刊誌がその背景を探る記事に掲載したほどだ。多額の義援金が寄せられる理由として、「伊勢湾台風の恩返し」説がある。五九年来に五千人以上が犠牲となり、当時で戦後最大の自然災害。事業団に約三億六千万円の寄付

義援金事業



2011年3月、被災地への義援金を寄託しに訪れた人たち。中日新聞社で

援金を送り続けている印刷業の岩瀬清さん(左)幸田町。今月四、五回、一回につき五千円を送り、総額は三百万円を超える。広島土砂災害や熊本地震で義援金を出した。「助け合い、困った時はお互いさま、という精神に気付いた」と言う。ある人の善意は周囲

「困ったときはお互いさま」



岩瀬清さん

切りの買って対応し、全国から支援が集まり、全国から支援があった。今も「伊勢湾台風の後にお世話になった」と義援金を持参する人がいる。ただ、伊勢湾台風が超えた。新聞社が関わ

事業団の鈴木英司事務局長は「祖父母や親から、助け合いの精神が脈々と受け継がれてい

る。義援金を集めた中高生たちが大人になっ

たら、また届けにくるに違いない。善意の

係が密で情に厚いので、伊勢湾

は「話しするのは、伊勢湾

に、繰り返し義援金を

届けてくれる企業や個

東日本大震災を機に義

(宮畑 謙)

事業一覧

(本部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~ 30年3/31	少年院成人式・卒業式での記念品贈呈。 更正保護施設行事の補助	後援	名古屋少年友の会	愛知少年院、瀬戸少年院、 豊ヶ岡学園、立正園
4/1~ 30年3/31	ボランティア団体 青葉友の会 活動助成	共催	中日青葉学園	中日青葉学園 (日進市)
4/9	第37回愛知県聴覚障害者体育大会	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会	一宮総合体育館ほか
4/15~ 30年3/19	名古屋手をつなぐ育成会青年教室	共催	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	手をつなぐ育成会福祉会館ほか
4/15~5/28	平成29年度愛知県障害者スポーツ大会	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会ほか	星ヶ丘ボウルほか
4/16	第7回ジョギングフェスティバル	後援	(公財) スペシャルオリムピクス日本・愛知	瑞穂公園田辺陸上競技場ほか
4/23	第5回チャリティーマラソン in 庄内緑地 介助犬の活動を応援しよう!	後援	名古屋栄ライオンズクラブ	庄内緑地公園内周回コース
4/25~ 11/19	第14回名古屋市障害者スポーツ大会	後援	名古屋市ほか	パロマ瑞穂スタジアムほか
4/28~30	陶芸教室の教室展 第15回チャリティーバザー	後援	陶工房鳴海	東桜会館
4/29	第40回記念17チャリティー芸能まつり	後援	チャリティー芸能まつり実行委員会	愛知県芸術劇場
4/29	2017年度愛重連総会記念講演&シンポジウム 「ピアカンと出会い開けた道」	後援	愛知県重度障害者団体連絡協議会	岡崎市竜美丘会館3F集会室
4/30	第9回豊田通商・あいおいニッセイ同和損保カップ 東海車椅子ツインバスケットボール刈谷大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	ウイングアリーナ刈谷
5/3~4	第44回中日本グランドソフトボール大会	後援	中日本グランドソフトボール連盟	愛知県一宮総合運動場
5/6	第67回児童園遊会	共催	名古屋市、(福) 名古屋市社会福祉協議会	東山動植物園
5/18~20	第20回国際福祉健康産業展~ウェルフェア2017~	後援	名古屋市国際見本市委員会ほか	ポートメッセなごや
5/21	第16回土井貴紅子チャリティーコンサート	後援	セントポーリアの会	名古屋千種小劇場(ちくさ座)
5/21	第17回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール 競技地区予選兼第47回日盲連東海地区グランドソフト	後援	三重県視覚障害者協会	三重県身体障害者総合福祉 グラウンド
5/27~28	第17回全国障害者スポーツ大会 車椅子バスケットボール競技北信越東海地区予選大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	福井県営体育館
5/28	(公財) 日本リウマチ友の会愛知支部第54回大会	後援	(公) 日本リウマチ友の会愛知支部	ウインクあいち小ホール1
5/28	第32回わだちまつり	後援	わだちまつり実行委員会、AJU自立の家 後援会	サマリアハウスほか
5/31	第60回自然に親しむ集い	後援	名古屋市視覚障害者協会	岐阜県
6/6~ 30年12/18	平成29年度面接教育相談事業	後援	(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団	愛知県教育会館ほか
6/8~10/1	地域レクリエーション教室 (心身障害者療育キャンプ)	後援	(一財) 三重県知的障害者育成会	香川県 小豆島ほか
6/8	平成29年度東海地区特別支援教育振興資金贈呈式	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	中日新聞社第2会議室
6/10~11	東日本大震災復興支援 文部科学大臣杯争奪 第30回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会	後援	日本車椅子ツインバスケットボール連盟	パークアリーナ小牧
6/11	平成29年度 総会・医療講演会 (全国膠原病友の会 愛知県支部)	後援	全国膠原病友の会愛知県支部	名古屋市総合社会福祉会館7 階
6/11	第53回名肢体登山大会	後援	名古屋市肢体障害者福祉連合会	琵琶湖・比叡山延暦寺 (滋賀県)
6/11、 11/19、 30年2/11	福祉レクリエーション講習会	共催	愛知県レクリエーション協会	愛知県スポーツ会館
6/14~9/1	平成29年度赤十字健康教室	後援	日本赤十字社愛知県支部 名古屋第二赤十字病院	名古屋第二赤十字病院研修 ホール

6/18	第41回チャリティー民謡藤栄会発表会	後援	民謡藤栄会	愛知県芸術劇場大ホール
6/24	第9回福祉セミナー	後援	(福) 昭徳会	法音寺 開山堂
①6/25 ②8/20	第35回昭和区の福祉まつり ①シンポジウム ②本まつり	後援	第35回昭和区の福祉まつり実行委員会	昭和区役所
7/1	JRPS愛知20周年記念講演会	後援	愛知県網膜色素変性症協会 (JRPS愛知)	ウインクあいち小ホール
7/2	2017年NPO法人アイディアC体創公開講座 親子・子ども運動あそび・5C忍者ランド指導者講習会	共催	NPO法人アイディアC体創協会	愛知県スポーツ会館
7/2	ソーシャルワーカーデー2017 in あいち	共催	ソーシャルワーカーデー2017 in あいち 実行委員会ほか	同朋大学成徳館12階ホール
7/8	子どもセンター「パオ」11周年記念イベント	後援	NPO法人子どもセンター「パオ」	名古屋市女性会館 イーブルなごや
7/8	第18回東海地区盲学校フロアバレーボール大会	後援	東海地区盲学校連盟	愛知県立岡崎盲学校
7/8~9	療育事業 (キャンプ)	後援	愛知県知的障害者育成会	横谷温泉旅館 (長野県)
7/9	西館建設に向けて元気になる人形劇 人形劇団むすび座アラビアンナイト公演	後援	名古屋キリスト教社会館	名古屋市芸術創造センター
7/9	第34回愛知県聴覚障害者大会	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会	名古屋学院大学 白鳥学者 (翼館)
7/9	平成29年度東海北陸ブロック車椅子バスケットボール 定期大会前期岐阜大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム
7/10	平成29年度岐阜県母子寡婦研修大会	後援	(一財) 岐阜県母子寡婦福祉連合会	岐阜市民会館
7/11~15	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	メニコンANNEXギャラリー Menio
7/12~ 30年3/28	地域で支える寺子屋	後援	中区中学生の居場所づくり ボランティアグループ「キラキラ輝く会」	新栄会館
7/15	35周年記念チャリティー民謡発表会 優利会	後援	優利民謡会	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
7/16	たはらサンドアートフェスティバル	後援	たはらサンドアート実行委員会	道の駅あかばねロコステーション、 ロコポイント(赤羽根西海岸)
7/21~29	第60回福祉施設「海の家」	共催	名古屋市児童養護連絡協議会ほか	篠島海水浴場
7/21~8/31	平成29年度高校生ボランティア活動並びに体験文募集	後援	(福) 中部善意銀行	愛知県内社会福祉施設
7/22	第10回まいまい狂言会	後援	まいまい狂言会	名古屋能楽堂
7/23	愛知県肝友会第36回定時総会及び記念療育相談会	後援	愛知県肝友会	増子記念病院 第3会議室
7/27~28	全日本盲学校教育研究会名古屋大会	後援	全日本盲学校教育研究会 全国盲学校校長会	キャッスルプラザ
7/29~ 30年3/31	愛知県精神保健福祉の増進に関するネットワーク づくり実施事業	後援	NPO法人愛知県精神障害者家族会連合会	ウインクあいちほか
7/31~12/4	第31回ふれあいフォトコンクール	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会	愛知県社会福祉協議会
8/1~3	サマーカヌースクール	後援	(公財) 東海交通遺児を励ます会	休暇村近江八幡
8/2~18	第26回AICHI高校生交流会	共催	愛知県児童福祉施設長会、AICHI高校生 交流会	岡崎市民会館ほか
8/5	第88回子どものための遊び方研究会	後援	中部日本生涯活動協会	愛知県共済生活協同組合8階 大ホール
8/5~6	トヨタ自動車2017全国ジュニア選抜 車椅子バスケットボール大会 in 愛知	後援	東海北陸ブロック車椅子バスケットボール 連盟ほか	スカイホール豊田
8/8	第59回名古屋市立小中学校特別支援学級・ 特別支援学校連合運動会	共催	名古屋市特別支援教育研究協議会ほか	日本ガイシホール
8/11~13	親子なかよしキャンプ	後援	NPO法人愛知県自閉症協会・つぼみの会	乙女溪谷キャンプ場(岐阜県)
8/11~15	第44回東海地区小児糖尿病サマーキャンプ	後援	東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会	四日市市少年自然の家

8/17~23	第32回中部ブロック動作法セミナー	後援	三重県心理リハビリテーション連合会	三重県立鈴鹿青少年センター
8/18~23	第45回愛知心理療育キャンプ	後援	愛知心理療育親の会	豆千待月（南知多町）
8/21	平成29年度愛知県児童福祉施設入所児童ソフトボール大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	幸田町とばね運動場
8/21~22	FHっ子、忍ゼミ夏キャンプ ～家庭養護児童宿泊型交流会～	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	美浜少年自然の家
8/23	平成29年度愛知県児童福祉施設入所児童卓球大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	日進市スポーツセンター
8/26~27	2017愛知県車いすテニス大会 in NAGOYA （第58回東海車いすテニス大会）	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	名古屋市東山公園テニスセンター
8/27~ 12/17	平成29年度青少年の自立支援事業 「トライアルキャンプ2017」	後援	（公財）愛知県教育・スポーツ財団	愛知県教育会館ほか
8/27	平成29年度愛盲文芸大会	後援	（福）愛知県盲人福祉連合会	明生会館（豊橋市）
9/3	平成29年度東海北陸ブロック車椅子バスケットボール後期岡崎大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	岡崎市中央総合体育館
9/7~8	南障会一泊研修旅行	後援	南区障害者関係団体連絡会	ホテルベルヴェデール （和歌山県）
9/9~24	現代高僧・名僧直筆大墨蹟展 「心に響くことば」チャリティー特別展示会	後援	NPO法人夢・同人	（株）偕拓堂ギャラリー 美術の森（岐阜県）
9/10~ 12/10	第65回手足の不自由な子どもを育てる運動	後援	愛知県肢体不自由児協会	愛知県内の市町村、学校、 事業所、福祉団体
9/16~18	第18回全日本グランドソフトボール選手権大会	後援	全日本グランドソフトボール連盟	道徳公園野球場ほか
9/17	第29回東海障害者バドミントン選手権大会	後援	東海障害者バドミントン連盟	名古屋市障害者スポーツセンター体育館
9/17	第35回名古屋障害者青年学級合同運動会	後援	名古屋障害者青年学級協議会ほか	中村スポーツセンター
9/18	NPO法人愛知県難病団体連合会 第45回大会	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	ウインクあいち小ホール
9/23	第28回名古屋市精神障害者家族交流事業 「晴れときどき虹」	後援	NPO法人名古屋市精神障害者家族連合会	中区役所ホール
9/24	平成29年度福祉の星フォーラム	共催	愛知県社会福祉協議会ほか	中日新聞本社6階ホール
10/1	第22回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会ほか	木曾三川公園特設会場
10/2	平成29年度作品展「てをつなぐ」	後援	愛知県知的障害者育成会	豊橋市こども未来館ニコニコ
10/3~8	第10回ふれいあアート展	後援	（一社）愛知県知的障害者生活サポート協会	名古屋電気文化会館 東ギャラリー
10/4	第45回東海レディス・プラザチャリティー・バザー	後援	東海レディス・プラザ	ダイテックSAKAE6階クリエイティブホール
10/7	創立30周年記念市民公開講演会	後援	日本てんかん協会愛知県支部	今池ガスビルプラチナルーム
10/7	生き生き長寿フェア2017	後援	愛知県、（福）愛知県社会福祉協議会	あいち健康の森公園（大府市）
10/15	第69回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール	後援	（福）愛知県共同募金会ほか	NHK名古屋放送局センタービル1階 プラザウェーブ21
10/15	第41回'17愛のフェスティバル	後援	（福）名古屋手をつなぐ育成会	名古屋手をつなぐ育成会福祉会館・ひろ場
10/16、24 11/7	平成29年成田山難病者激励金贈呈式	主催	中日新聞社、（福）中日新聞社会事業団	中日新聞社本社、岐阜支社、 三重総局
10/18~ 11/25	第73回ボランティアスクール	後援	（福）あさみどりの会	さわらび園
10/19	民生委員制度創設100周年記念・ 第65回愛知県社会福祉大会	後援	（福）愛知県社会福祉協議会ほか	愛知県体育館
10/22	国際吃音啓発の日記念「吃音啓発&相談会」	後援	三重言友会	四日市市総合会館
10/24~29	「左脳の輝きハンディーを超えて」浅井力也×知的な障害のある人の作品展「アートi」共催作品展	後援	（福）名古屋手をつなぐ育成会 名古屋和合ロータリークラブ	ノリタケの森ギャラリー

10/24	第35回全国社会福祉軟式野球大会愛知大会	後援	愛知県児童養護施設施設長会	熱田神宮公園野球場ほか
10/28	アジア障害者支援プロジェクト 報告会&写真展	後援	アジア障害者支援プロジェクト	名古屋国際センター4F展示室
10/28	第64回児童福祉施設運動会	後援	名古屋市、名古屋市児童養護連絡協議会 ほか	パロマ瑞穂スポーツパーク
10/29	名古屋城パティウォーク2017	後援	名古屋すまいるマイル	名古屋城二之丸広場
10/29	第16回車いすテニス岩倉大会	後援	愛知県車いすテニス協会ほか	岩倉市野寄テニスコート
11/3	14thAJUワインフェスタ in 多治見修道院	共催	(福) AJU自立の家ほか	神言会多治見修道院
11/4~5	平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会・ 中部地区母子寡婦福祉研修大会	後援	(福) 愛知県母子寡婦福祉連合会	ウェスティンナゴヤキャッスル
11/5	第50回愛知県視覚障害者福祉大会(豊橋大会)	後援	(福) 愛知県盲人福祉連合会	豊橋市民文化会館
11/10	FH運営・マネージメント研修	後援	愛知県ファミリーホーム協議会	名古屋芸術大学(北名古屋市)
11/11	第55回愛知県子どももも大会	後援	愛知県子ども会連絡協議会ほか	名古屋市公会堂
11/11	第2回パールオープン交流卓球大会	後援	西尾パール卓球クラブ	西尾市総合体育館 (サブアリーナ)
11/12	第15回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	共催	(一財) 岐阜県障害者スポーツ協会	岐阜メモリアルセンター長良川 競技場
11/12	第63回東海車椅子ツインバスケットボール定期大会 砺波大会	後援	東海車椅子ツインバスケットボール委員会	富山県西部体育センター
11/15~19	第14回名古屋市老人福祉施設作品展	共催	名古屋市老人福祉施設協議会ほか	名古屋市民ギャラリー矢田
11/17	第10回健康づくりウォーキング	後援	名古屋市老人クラブ連合会	東山公園一万歩コース
11/18	第53回重度在宅児・者研修旅行	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	レゴランドジャパン名古屋
11/18~19	第59回東海車いすテニス大会 in 鈴鹿	後援	三重県車いすテニス協会	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
11/19	第16回あいち障害者フライングディスク競技大会	共催	あいち障害者フライングディスク協会	愛知県体育館
11/19	第39回音楽の集い「穂の国大会」	共催	愛知県児童福祉施設長会、 (福) 愛知県社会福祉協議会	豊川市文化会館大ホール
11/19	平成29年度三重県母子寡婦福祉大会	後援	(一財) 三重県母子寡婦福祉連合会	「まなびの郷」きらめきホール
11/19	第62回名古屋市身体障害者福祉大会	後援	(福) 名古屋市身体障害者福祉連合会	昭和文化小劇場
11/26	第14回なごや手話フェスティバル	後援	名古屋市聴覚障害者協会	名古屋市北文化小劇場
11/27~ 12/28	平成29年度「年末助け合い運動」	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	中日新聞社会事業団事務局、 支社、総・支局、通信部・局
12/2	第35回愛知県心身障害児(者)福祉大会	後援	愛知県心身障害児 (者) 福祉団体連絡協議会ほか	愛知県社会福祉会館第一研修室
12/2	スマイルピースコンサート2017	後援	スマイルピースコンサート実行委員会	岩倉市総合体育文化センター
12/3	第57回愛知県身体障害者福祉大会	後援	(一社) 愛知県身体障害者福祉団体連合会 稲沢市身体障害者福祉協会	日進市民会館
12/5~6	中日新聞年末助け合いチャリティー 第34回「郷土の美術家100人展」	主催	中日新聞社、(福) 中日新聞社会事業団	松坂屋名古屋店南館8階 マツザカヤホール
12/6	第22回中部善意銀行年末たすけあい チャリティーバザー	後援	(福) 中部善意銀行	名鉄百貨店本店本館10階 特設会場
12/7~9	第15回尾西作家協会展チャリティー展	後援	尾西作家協会	一宮市三岸節子記念美術館
12/10	名美歳末チャリティー茶会	後援	名古屋美術商協同組合	名古屋美術倶楽部
12/16	日本福祉大学・名古屋市教育委員会市民大学 公開講演会	共催	名古屋市教育委員会、日本福祉大学ほか	イーブルなごやホール

12/17	平成29年度社会貢献活動推進セミナー	後援	(福) 愛知県社会福祉協議会	ナディアパークデザインホール
12/23	第23回東海地区特別支援学校知的障害教育校サッカー大会	後援	第23回東海地区特別支援学校知的障害教育校サッカー大会実行委員会ほか	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカー・ラグビー場
12/23	2017中日青葉学園招待スケート教室	共催	名古屋スポーツセンター	名古屋スポーツセンター
12/23	名古屋少年少女合唱団が贈るチャリティークリスマスコンサート (2017)	後援	名古屋少年少女合唱団	三井住友海上しらかわホール
12/23	第51回交通遺児を励ます大会 (記念大会)	後援	(公社) 東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
12/24	日本特殊陶業 (株) がお贈りする第5回ファミリーミュージカル	後援	日本特殊陶業 (株)	日本特殊陶業市民会館 フォレストホール
12/24	ISOGAI花火劇場 in NAGOYA ～次世代を担う子供たちに美しい花火を贈る～	後援	名古屋港冬花火実行委員会	名古屋港ガーデン埠頭
12/25	平成29年度第8回愛知県児童福祉施設入所児童フットサル大会	共催	愛知県児童福祉施設長会	武田テバオーシャンアリーナ
1/7	地球組コンサート“18年目のソング&ダンス”	後援	少年少女合唱団 地球組	ウィルあいちウィルホール
1/13～14	平成29年度第15回スキー村	共催	愛知県児童福祉施設長会	伊那スキーリゾート (長野県)
1/18～23	第41回世界の貨幣まつり	後援	日本貨幣商協同組合	丸栄8階大催事場
1/20	脳外傷リハビリテーション講習会	後援	脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会 ほか	今池ガスホール
1/21	平成29年度 あした天気にな～れ	後援	(一社) 愛知県精神保健福祉士協会	名古屋国際会議場
1/23～28	第6回知的な障害のある人の作品展「アートi」展	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市民ギャラリー矢田
2/4	NHKハートフォーラム名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋講演会「実は身近な発達障害」	後援	名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋ほか	ウインクあいち大ホール
2/4	平成29年度第32回愛知県児童福祉施設親善マラソン大会	後援	愛知県児童福祉施設長会	新城総合運動公園競技場および周辺道路
2/6～12	第52回名古屋市障害者作品展	後援	名古屋市、(福) 名古屋市身体障害者福祉連合会	名古屋市博物館
2/11	愛知障害フォーラム (ADF) 地域フォーラム	後援	愛知障害フォーラム (ADF)	名古屋市立大学桜山キャンパスさくら講堂
2/14	第6回あ・い・ち・ふ・く・しシンポジウム	共催	(福) 愛知県社会福祉協議会	中日パレスクラウンホール
2/18	ジネンカフェvol.121～障害のあるひととないひとの間には何がある？あなたの知らない福祉教育の世界	後援	NPO法人まちの縁側育くみ隊	名古屋市総合社会福祉会館7階大会議室
2/18	アイディアC体創協会創立20周年記念「記念講演会&みんなのからだあそび祭り」	後援	NPO法人アイディアC体創協会	あいち健康プラザ
2/20～25	第55回特別支援教育展「きらめき展」	共催	名古屋市特別支援教育協議会	名古屋市博物館
2/20～3/15	第38回障害者作品即売会「福祉の店」	後援	(一財) 愛知県セルフセンターほか	イオンモールナゴヤドーム前ほか
2/24	平成29年度陶芸教室	共催	虹の架け橋～養育者を支援する里親・家庭養護の会～	中日新聞社北館ホール
2/25	第33回名古屋手をつなぐ育成会交流スポーツ大会	後援	(福) 名古屋手をつなぐ育成会	名古屋市昭和スポーツセンター
2/25	RDD (Rare Disease Day) 2018 in あいち	後援	NPO法人愛知県難病団体連合会	金山総合駅連絡通路内
3/4	第36回耳の日記念聴覚障害者と県民のつどい	後援	(一社) 愛知県聴覚障害者協会 (福) 愛知県社会福祉協議会	知多市勤労文化会館
3/10	内閣総理大臣杯争奪第46回日本車椅子バスケットボール選手権大会東海北陸地区予選愛知大会	後援	東海北陸車椅子バスケットボール連盟	名古屋市名東スポーツセンター
3/11	第24回全日本選抜フロアバレーボール愛知大会 ANGEL CUP2018	後援	愛知県フロアバレーボール協会	愛知県体育館
3/11	東日本大震災義援金支援チャリティーライブ劇場版Ⅲ	後援	唄い屋集団 心声届	豊田市民文化会館大ホール
3/17	平成29年度中日青葉学園「巣立ちの会」卒業・退園祝い	主催	中日青葉学園、(福) 中日新聞社会事業団	中日青葉学園 (日進市)

3/18	第47回中学を卒業する交通遺児を励ます集い	後援	(公財) 東海交通遺児を励ます会	サイプレスガーデンホテル
3/21	第16回日本ブラインドテニス中部日本大会	後援	日本ブラインドテニス連盟中部地域協会	名東スポーツセンター
3/24~30	第36回愛知動作法療育キャンプ	後援	第36回愛知動作法療育キャンプ実行委員会 ほか	坂井温泉湯本館 (常滑市) ほか

北陸支部

本部や中日新聞北陸本社と緊密な連携をとりながら北陸三県内の関係機関、団体などの協力を得て平成29年度の事業を推進した。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

・大井中日就学（職）支援（3月19日～31日・石川県内児童養護施設）

七尾市の中高生の就学を支援してきた「大井中日奨学福祉財団」の解散に伴い、平成24年3月に引き継いだ残余財産を、趣旨及び継続を考慮した「大井中日就学・就職支援金」として29年度も実施した。

県内にある児童養護施設7施設で暮らす中学校の卒業生に贈呈。今春高校に進学、就職する子どもたち19人に新生活の準備に役立ててもらった。

(2) その他

a. 招待事業

・「ダンボール遊園地」招待（8月2日～21日・めいてつ・エムザ）

石川県内の児童養護施設6施設に入所している児童129名を招待。

b. 助成を希望する障がい者関連施設に対する支援

・年末助け合い運動（11月27日～12月28日・石川県内）

中日新聞北陸本社と連携をとり、広く募金活動を展開。支部では、48件、931,101円の募金が集まり、石川県内の障がい者支援施設8施設へ届けた。

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

・あすなる親の会（ひきこもりを考える会）例会（月1回・石川県内各所）

ひきこもりの子どもを持つ親たちが、月1回石川県内の会場にて意見交換会や、ひきこもりへの理解を深めるため講師を招いて講演会を開いた。

(2) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者

- ・「第38回金沢手をつなぐ親の会水泳大会」を支援

(11月23日・金沢市西部市民体育館プール)

障がいのある子どもたちの保護者らで運営している金沢手をつなぐ親の会が開催。日常の体育訓練を通して、知的障がい児の身体的、心理的発達、社会的適合の促進向上を目指した水泳大会の参加者に、今年も表彰メダルや参加賞を贈った。

b. その他

- ・平成29年度 中日ボランティア賞

(表彰式：12月9日・ANAクラウンプラザホテル金沢)

石川、富山、福井各県で地道な社会活動や、子どもたちの隠れた善行、他の模範となるボランティア活動を続けている個人、グループや団体を顕彰した。

従来の「中日ボランティア顕彰」(成人対象)と「中日あおば賞」(青少年対象)を統合し、今回で10回目。

北陸三県の福祉・教育関係機関、社会福祉協議会、公民館や図書館、病院、中日新聞北陸本社の支社、支局などから多数の推薦があり、社内外の選考会で35件(石川15件、福井9件、富山11件)が選ばれ、受賞者に賞額、記念品を贈った。



後援：石川県、富山県、福井県、三県教育委員会、三県社会福祉協議会、金沢市教育委員会

- ・乳児院に図書カード贈呈（6月14日～20日・石川県内）

石川県内の乳児院2カ所に、1施設あたり20,000円の図書カードを贈呈。

(3) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災における義援金が7年を過ぎても寄せられ、18件、452,407円が本部を通じて被災地へ届けられた。

・たまきはる福島基金

平成24年3月1日より受け付けを開始した、福島原発事故で避難を余儀なくされた子どもや若者などを精神的、経済的に支援する「たまきはる福島基金」を引き続き受け付けし、支部では14件、90,000円が集まった。

・九州北部豪雨義援金

平成29年7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨による災害に対し、支部に寄せられた義援金は24件、653,900円となった。

事業一覧

(北陸支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
6/14~6/20	乳児院図書カード贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
8/2~8/21	「ダンボール遊園地」招待	主催	北陸中日新聞社会事業団	めいてつ・エムザ
11/23	第38回金沢手をつなぐ親の会水泳大会	後援	金沢手をつなぐ親の会	金沢市西部市民体育館プール
11/27~ 12/28	年末助け合い運動	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
12/9	平成29年度中日ボランティア賞 表彰式	主催	北陸中日新聞社会事業団ほか	ANAクラウンプラザホテル 金沢
30年3/19	大井中日就学(職)支援金贈呈	主催	北陸中日新聞社会事業団	石川県
毎月	あすなろ親の会(ひきこもりを考える会)例会	共催	あすなろ親の会	石川県

東海支部

静岡県内を対象に中日新聞東海本社と緊密な連携を取り、地域社会の人々や関係機関、各種団体などの積極的な協力を得て、平成29年度の事業を実施した。

◇社会福祉事業

(1) 児童養護施設等支援事業

- ・浜松科学館特別展「深海アドベンチャー」へ浜松市内児童福祉施設入所者を招待
(7月3日・浜松市役所)

浜松市内の母子支援施設1カ所、児童養護施設3カ所の入所者に、浜松市子ども家庭部を通じて招待し、7月15日から8月27日までの開催期間中に174名が訪れた。希望者には会場内のワークショップにも参加できるように手配し、楽しいひとときを過ごしてもらった。

主催：中日新聞社会事業団東海支部

- ・第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会（8月22日・湖西市みなと運動公園）

静岡県内の児童福祉施設12カ所の入所児童・生徒による、中・高生部門、小学生部門に分かれてのソフトボール大会。大会を後援し、盾と参加賞を贈り大会運営に協力した。

主催：静岡県児童養護施設協議会

◇公益事業

(1) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

- ・第40回静岡県ボランティア研究集会

(30年2月11日・湖西市新居地域センターほか)

静岡県内でボランティア活動に関わる人が集い、情報交換や話し合いを通じた学習・ネットワークづくりを強化することを目的とした集会。集会を後援し、運営援助金50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

(2) 社会福祉向上を目的とする事業の実施、支援事業

a. 障がい者

・第31回静岡オレンジマラソン大会

(10月28日・静岡県草薙総合運動場陸上競技場)

福祉を育てる民間運動行事の一環として、毎年行われている知的障がい者のマラソン大会。大会を後援し、メダルを贈った。

主催：静岡県知的障害者福祉協会、静岡県手をつなぐ育成会、NPO法人静岡県作業所連合会・わ

b. その他

・第34回中日ボランティア賞（贈呈式＝10月19日・ホテルコンコルド浜松）

静岡県内で積極的なボランティア活動に取り組む団体を顕彰する主催事業。

静岡県、同県社会福祉協議会、同県ボランティア協会、浜松市が後援し、浜松市を除く後援3団体より36件の推薦があった。受賞7団体（静岡県西部4団体、中部2団体、東部1団体）を選考委員会で決定。10月19日ホテルコンコルド浜松で贈呈式を行い、賞状・奨励金（1団体200,000円）を贈った。



第34回中日ボランティア賞贈呈式＝浜松市で

・年末助け合い運動（11月27日～12月28日・中日新聞東海本社ほか）

中日新聞東海本社と連携をとり、広く募金活動を展開した。寄付金は70件、総額で2,559,093円となった。

・年末助け合い

第36回ふるさと知名人チャリティー色紙展

(12月2日～4日・遠鉄百貨店イ・コ・イ スクエア 6階ギャラリー・ロゼ)

静岡県にゆかりのある知名人（画家・書道家・版画家など）から、チャリティーで色紙作品の提供を受け、展示中に来場者が1枚4,000円で購入（一部入札あり）、その収益金を寄付する主催事業。中日新聞東海本社と連携をとり、

浜松市の遠鉄百貨店の協力を得て開催。経費を除いた収益金(390,000円)の半額を年末助け合い運動資金に、半額を12月21日に静岡県社会福祉協議会に贈った。



市民らでにぎわう第36回ふるさと知名人チャリティー色紙展＝浜松市で

・生活保護家庭の中学生に図書カード(12月14日・静岡県西部地区)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の中学生203人(浜松市177人、湖西市1人、磐田市10人、袋井市9人、掛川市6人)に、激励の意を込め図書カード1人5,000円分を贈った。お礼状には、高校受験やテストに備えて参考書を買ったと書いている生徒が多く、図書カードを有益に使っている様子がうかがえた。



生活保護家庭の小・中学生や保護者から寄せられた礼状の一部

・生活保護家庭の小学校新入学児童に図書カード贈呈

(30年2月9日・静岡県西部地区)

静岡県西部地区在住で生活保護家庭の新年度小学校へ入学する児童39人(浜松市31人、磐田市2人、袋井市3人、掛川市3人)に図書カード1人3,000円分を贈った。保護者からのお礼状には絵本や図鑑を購入したとの声や、覚え立てのひらがなでありがとうと書かれた新入学児童直筆のものもあった。

・社会福祉事業資金造成 第34回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会

(30年3月14日・豊岡国際カントリークラブ)

豊岡国際カントリークラブで開催し、上位入賞者にトロフィーを贈呈。参加費の一部をチャリティー寄付金とし、86,000円の社会福祉事業資金が集まった。

- ・ 浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈（30年3月6日・浜松市内）

平成29年度に中学校を卒業する浜松市内の交通遺児1人に、卒業祝いと激励の意を込めて、高校で使用頻度の高い電子辞書を贈呈した。浜松市子ども家庭部から情報提供を受け、直接郵送。
- ・ 交通遺児義援金の贈呈（30年3月28日・浜松市）

浜松市および近郊在住の方々から寄せられた交通遺児義援金を浜松市交通遺児等福祉事業基金へ届けた。今年度は262,584円。
- ・ 寿会ゴルフ大会（毎月1回・豊岡国際カントリークラブ）

高齢のゴルフ愛好者で構成される寿会が開催する「寿会ゴルフ大会」を後援した。

主催：豊岡国際カントリークラブ
- ・ 第26、27回スズキビジネスチャリティゴルフ大会

（7月5日、12月6日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

地元企業が主催するチャリティゴルフ大会。困窮している浜松市のペルー人学校を支援する目的で寄付を募る目的で開催しており、本大会を後援した。

主催：株式会社スズキビジネスチャリティゴルフ大会実行委員会
- ・ 2017浜松市民チャリティゴルフ大会 in いなさGC

（10月4日・いなさゴルフ倶楽部浜松コース）

浜松市ゴルフ連盟が主催し、参加費の一部を浜松市津波対策事業に寄付するチャリティゴルフ大会。大会を後援し支援した。

主催：浜松市ゴルフ連盟
- ・ 静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成（5月・静岡県）

昭和52年に民間のボランティア活動推進機関として設立された静岡県ボランティア協会が平成19年4月に30周年を迎えた。これを記念し、同協会ではその後毎年年次レポートを発行しており、今年も助成金として50,000円を贈った。

主催：特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

(3) 災害援護に関する事業

・災害義援金

平成29年7月5日から6日にかけて九州北部で発生した集中豪雨による災害への義援金は、7月31日までに58件3,573,103円が東海支部に寄せられ、本部を通じて被災地へ届けられた。

また、平成23年3月11日の地震発生後7年目となった東日本大震災義援金へも36件1,521,446円の寄付があり、発生から29年度末までに東海支部に寄せられた義援金は計4億9300万円を超えた。

事業一覧

(東海支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4月～ 30年3月	寿会ゴルフ大会	後援	豊岡国際カントリークラブ	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
5月	静岡県ボランティア協会年次レポート発行への助成	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	静岡県
7/3	浜松科学館特別展「深海アドベンチャー」へ 浜松市内児童福祉施設入所者招待(贈呈日)	主催	中日新聞社会事業団東海支部	招待券贈呈＝浜松市役所 特別展会場＝浜松科学館
7/5	第26回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
8/22	第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	後援	静岡県児童養護施設協議会	湖西市みなと運動公園
10/4	2017浜松市民チャリティゴルフ大会 in いなさGC	後援	浜松市ゴルフ連盟	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
10/19	第34回中日ボランティア賞贈呈式	主催	中日新聞社会事業団東海支部	ホテルコンコルド浜松(浜松市)
10/28	第31回静岡オレンジマラソン大会	後援	静岡県知的障害者福祉協会 静岡県手をつなぐ育成会 NPO法人静岡県作業所連合会・わ	静岡県草薙総合運動場 陸上競技場 (静岡市)
11/27～ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団東海支部	中日新聞東海本社ほか静岡県内
12/2～4	第36回ふるさと知名人チャリティー色紙展	主催	中日新聞社会事業団東海支部	遠鉄百貨店イ・コ・イスクエア6階 ギャラリー・ロゼ(浜松市)
12/6	第27回スズキビジネスチャリティゴルフ大会	後援	(株)スズキビジネスチャリティゴルフ大会 実行委員会	いなさゴルフ倶楽部浜松コース (浜松市)
12/14	静岡県西部地区生活保護家庭中学生に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
30年2/9	静岡県西部地区生活保護家庭 小学校新入学児童に図書カード贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	静岡県西部地区
2/11	第40回静岡県ボランティア研究集会	後援	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	湖西市新居地域センターほか
3/14	社会福祉事業資金造成 第34回中日杯争奪チャリティーゴルフ大会	主催	中日新聞社会事業団東海支部	豊岡国際カントリークラブ (磐田市)
3/6	浜松市在住の交通遺児中学卒業生へ電子辞書贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市
3/28	交通遺児義援金贈呈	主催	中日新聞社会事業団東海支部	浜松市役所

東京支部

本部および中日新聞東京本社（東京新聞）と緊密な連携をとりながら、新聞の発行エリアである東京都を中心に、「東京新聞社会事業団」名義で活動を行った。

◇社会福祉事業

- ・年末助け合い運動募金で寄せられた寄付のうち、一部を東京都港区の東京都済生会中央病院附属乳児院、青梅市の東京恵明学園乳児部、神奈川県川崎市の至誠館さくら乳児院、千葉県富津市の望みの門方舟乳児園、埼玉県加須市の愛泉乳児園、茨城県高萩市の同仁会乳児院に助成を行った。

◇公益事業

(1) 社会福祉、保健医療の向上を目的とする事業の実施及び支援

a. 障がい者福祉事業

- ・第21回全日本IDバレーボール選手権大会

(8月12、13日・浦安市運動公園総合体育館)



ベストプレイヤー賞を受け取る選手たち

全日本IDバレーボール大会が開催され、東京新聞・東京中日スポーツと東京支部が後援。参加チームから各1名にベストプレイヤー賞を贈呈した。

b. その他

- ・東日本大震災・東京電力福島第一原発事故関連事業

埼玉県への避難者が地元住民らと立ち上げた交流サロンのうち、別表の団体に活動費用の一部、合計60万円を助成した。

活動地区	団体名・活動名称	代表者名	主な活動場所
埼玉県越谷市	あゆみの会	石上 清	コーププラザ越谷ほか
埼玉県所沢市	青空あおぞら	岡田 恭子 震災支援ネットワーク埼玉	所沢市公民館
埼玉県春日部市	春日部つながり カフェ	震災支援ネットワーク埼玉	コーププラザ春日部
埼玉県加須市	双葉町民による ボランティアカフェ	震災支援ネットワーク埼玉	いきいきサポートセンター (双葉町 社会福祉協議会埼玉事務所内)

・レイプクライシスセンターTSUBOMIに助成金

都内に本部を置き、男女性暴力被害者からの電話・メール・面接・法律各相談と裁判所や病院への付き添い活動を行っている「レイプクライシスセンターTSUBOMI」（望月晶子代表）に本年も48万円を助成した。助成は6年目。

・年末助け合い運動

11月27日から12月28日まで東京本社と同支局などの協力を得て読者らに呼びかけた。期間中に37件、1,084,814円の善意が寄せられ、継続助成の4団体に加え、社会福祉事業として6団体に贈呈した。さらに前年度助成を行った相模原南児童ホームの活動取材して東京新聞で掲載したところ、反響は大きく新規の寄付者を得た。

【継続助成団体】 あしなが育英会、交通遺児育英会、東京都社会福祉協議会・東京善意銀行、日本点字図書館

・児童養護施設を卒業する人への奨学金を贈呈

東京都東久留米市の読者から「児童養護施設を卒業する人への奨学金に使ってほしい」と400万円の寄託があり、給付型奨学金事業を行っている「西脇基金」と「あすのば」に200万円ずつ贈呈した。

(2) 災害援護に関する事業

・東日本大震災義援金

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた被災者への義援金を募るため、翌12日より東京本社と協力して実施。昨年度に引き続き、郵便振替、東京本社や支局、中日新聞社友会東京支部の総会での募金など善意が多数寄せられ、今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は166件、3,005,881円。

・たまきはる福島基金

東京電力福島第一原発事故で避難を余儀なくされた人たちを経済的精神的に支援する同基金への寄託を社会事業団でも実施。今も途切れることなく続いている。今年度東京支部へ寄せられた義援金は22件、280,000円。

・九州北部豪雨義援金

平成29年7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨による被災者支援のため義援金を受け付けた。東京支部へ寄せられた義援金は469件、16,529,221円。

・東日本復興支援事業

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島3県の行政ではできない復興支援活動への寄託を実施。今年度東京支部へ寄せられた支援金は3件、60,000円。

・福島県の視察

11月7～8日に埼玉県労働者福祉協議会の協力により、震災と原発事故で大きな被害を受けている福島県相馬市から南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、楡葉町、富岡町を視察。双葉町と大熊町は全域が現在も放射線量が高く帰宅が困難で、両町内を通る常磐自動車道と国道6号線以外は許可なく入れない。バス車内から見ると、避難指示が出た日から時間が止まっているように感じた。



津波で被害を受けたえ浪江町請戸地区

大きな被害を受けている福島県相馬市から南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、楡葉町、富岡町を視察。双葉町と大熊町は全域が現在も放射線量が高く帰宅が困難で、両町内を通る常磐自動車道と国道6号線以外は許可なく入れない。バス車内から見ると、避難指示が出た日から時間が止まっているように感じた。



富岡町は避難指示が解除された区域と解除されていない区域がある。解除されたところには復興公営住宅（戸建型とマンション型）と複合商業施設があり、小中一貫校も今年4月に開校、復興に向けた動きを着々と進めている。また震災復興整備計画のひとつとして、農地に太陽光パネルを並べて発電する「富岡復興ソガメラー」＝写真＝を設置している。しかし住民の帰還は進まず、町内には人は少なかった。

事業一覧

(東京支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/1~3/31	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」助成の件	共催	NPO法人「レイプクライシスセンターTSUBOMI」、中日新聞社会事業団東京支部	東京都内(東京都千代田区)
4/1~3/31	平成29年度震災・原発事故避難者支援事業助成金の件	共催	震災支援ネットワーク埼玉、歩みの会、中日新聞社会事業団東京支部	埼玉県内各地
4/1~3/31	第20回「がんばれ先生！東京新聞教育賞」	後援	中日新聞社東京本社	東京新聞紙上
11/4~11/5	第23回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 東京	後援	(一財)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	国立オリンピック記念青少年総合センター
8/12~8/13	第21回全日本IDバレーボール選手権大会	後援	日本IDバレーボール連盟	浦安市運動公園総合体育館
9/27~9/29	第44回国際福祉機器展H.C.R.2017	後援	全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会	東京ビッグサイト東展示ホール
10/9	2017グリーンリボンランニングフェスティバル	後援	中日新聞社東京本社	駒沢競技場
11/30	第15回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート	後援	(福)日本点字図書館	東京文化会館小ホール
30年2/26	「子どもの為の奨学金に」指定寄付	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京都内
30年2/28	年末助け合い運動募金の配分	主催	中日新聞社会事業団東京支部	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城

岐阜支部

岐阜県内を対象に本部・中日新聞岐阜支社と緊密に連携、関係機関・各種団体などの協力を得て地域に密着した福祉事業を企画・実施した。7月からは、「中日新聞社会事業団岐阜支部だより」を岐阜県版に毎週木曜日に掲載し、共催・後援・支援事業の告知に努めた。

◇社会福祉事業

(1) 社会福祉事業に関する助成を行う事業

- ・社会福祉施設花いっぱい運動（6月2日贈呈式・県内50社会福祉団体）

社会福祉施設の環境美化を図るとともに、心に潤いのある生活を願って、県内の各社会福祉施設に苗・種子・球根を贈り、運動の成果を冊子にまとめ関係者に配布し、施設の内容や頑張りを紹介した。

協力：岐阜県遊技業協同組合

岐阜県内社会福祉事業協力会・岐阜県中日会(新聞販売店会)



花いっぱい運動結果報告書

◇公益事業

(1) 保健医療相談事業

- ・心の病家族相談センター（毎週火、木曜日・岐阜県精神保健福祉連合会事務所）

精神疾患に伴う悩みを抱えている人に相談窓口「心の病」を開設し、精神疾患者や家族の支援を行った。

共催：特定非営利活動法人 岐阜県精神保健福祉連合会

- ・薬物依存症医療相談の実施（毎月第2水曜日・岐阜ダルク事務所）

薬物依存症自立支援団体「岐阜ダルク」の協力で、同症の自立支援および啓発活動として、薬物依存症患者に対しての電話相談を行った。

共催：特定非営利活動法人 岐阜ダルク

- ・介護者のつどいの実施（岐阜市・大垣市・土岐市・高山市など県内10ヶ所）

認知症の介護経験を持つ相談員による介護相談を、認知症の人と家族の会の協力で、県内10ヶ所で年間107回開催。もっと身近に、身軽に相談できる「認知カフェ」も各地で開設された。

共催：公益社団法人 認知症の人と家族の会岐阜県支部

(2) 研修会・講演会・講座の開催、支援事業

a. 研修会

- ・東海四県言語・難聴・発達障害児教育研究大会岐阜大会

(8月18日・大垣市サイトピアセンター)

b. 講演会

- ・岐阜県網膜色素変性症協会発足10周年記念式典及び講演会

(7月2日・長良川国際会議場)

c. 講座

- ・要約筆記講習会(9月24日、10月8日・岐阜市民福祉活動センター)

d. その他

- ・岐阜ダルクチャリティーコンサート(5月14日・カトリック岐阜教会)
- ・岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭(9月24日・恵那文化センター)

(3) 社会福祉の向上を目的とする事業

a. 各種スポーツ大会や文化的事業(障がい者)

- ・第14回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

(11月12日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

障がいのある人も手軽に楽しむことができるグラウンド・ゴルフを通して、全国の障がい者が交流と親睦を深めるとともに、グラウンド・ゴルフの一層の振興及び、障がい者の自立と社会参加の促進に資することを目的に開催。中日新聞社へりによる祝賀飛行と花束の投下もあった。

共催：岐阜県身体障害者スポーツ協会
連携：本部



熱戦を繰り広げた、グラウンド・ゴルフ大会

- ・岐阜県特別支援学校チャレンジ陸上競技大会

(10月7日・岐阜メモリアルセンター長良川競技場)

岐阜県内の特別支援学校の児童・生徒に、広く陸上競技の進行を通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに、相互の親睦を深め、社会性を育てることを目的に開催。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

・岐阜県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会(12月10日・岐阜県百年公園)

岐阜県内の特別支援学校高等部の生徒が、男子の部・女子の部・混合の部
でたすきをつなぎ、学校対抗の団結と社会性を高めることを目的に開催。

後援：岐阜県特別支援学校体育連盟

・CPサッカー全日本選手権大会(10月21日・長良川メドウ)

※22日の日程は台風接近のため中止となり、1日のみの大会となった。

CP(脳性まひ者7人制)サッカーの認知度を高め、肢体不自由者のスポーツ
参加の機会を促進する目的で、脳性まひ者のサッカークラブの全国大会を開
催。日本CPサッカー協会会長は、岐阜在住であり、NHK岐阜放送局と合わ
せてPRに努めた。

後援：(社)日本CPサッカー協会

・第26回中部手話スピーチコンテスト

(11月18日・中部学院大学各務原キャンパス)

聴者と聴覚障がい者の共生ができる社会をめざし、手話の普及と聴覚障害
者福祉の推進を目的に、愛知県・岐阜県の高校生を中心に、手話によるスピー
チコンテストを開催。

共催：中部学院大学、(社)岐阜県聴覚障害者協会

b. 子育て支援事業

・岐阜市内の母子家庭親子を東京ディズニーリゾート旅行へ招待

(8月25日～27日・TDR)

岐阜市内の母子家庭の親子を
対象に夏休みの思い出作りを目的に、バス2台を用意し東京
ディズニーリゾート旅行に招待した。岐阜社会福祉事業協会の
資金協力で、6月に中日新聞
の紙面や岐阜市の広報を通じ募
集、2泊(車中)3日で実施。

共催：岐阜市母子寡婦福祉連合会



東京ディズニーリゾート到着

- ・岐阜市母子寡婦福祉大会（9月3日・メディアコスモス）
- ・岐阜県母子寡婦福祉連合会研修会（2月25日・岐阜市民会館）

c. その他

- ・社会福祉団体共催金・助成金贈呈式（8月1日・中日新聞岐阜支社）

岐阜県難病団体連絡協議会など、岐阜県内の各種社会福祉団体22団体に対し223万円を、今年度の事業共催金・助成金として贈呈した。

- ・年末助け合い運動（11月27日～12月28日・岐阜支社管内）

岐阜県内の福祉施設や福祉団体の支援のため、中日新聞岐阜支社と各支局・通信局部、販売店などの協力を得て、中日新聞紙面を通じ年末助け合い運動を展開した。

- ・郷土の美術家ぎふ展（12月2日～6日・岐阜高島屋シネックスホール）

東海3県内で活躍する日本画・洋画・工芸・書の各部門の実力作家や人気作家の最新作130余点を販売、会期初日は開場前から50人ほどが並ぶなど好評を得た。また、会期後のネット販売も昨年引き続き実施した。



郷土の美術家ぎふ展会場

(4) 災害援護に関する事業

- ・自然災害発生時の援護活動

東日本大震災・九州北部豪雨災害などの自然災害発生に際し義援金の受付などを実施した。また、中日新聞の紙面を通じ広く読者に支援を呼びかけた。

(5) その他

- ・招待事業

長良川球場で行われたプロ野球（中日ドラゴンズ戦）や、大相撲名古屋場所、各種美術展・イベントの招待券を福祉関係者に贈呈した。

事業一覧

(岐阜支部)

開催日	事業	主催・後援 (連携)	主催者	会場
4/4	「心の病」家族相談センター開設(毎週火・木)	共催	岐阜県精神保健福祉連合会	県精神保健福祉連合会 (岐阜市)
4/6	介護者のつどい(107回開催)	共催	認知症の人と家族の会岐阜県支部	岐阜中日ビルほか(岐阜市)
4/12	薬物依存症医療相談(11回開催)	共催	岐阜ダルク	岐阜ダルク(岐阜市)
5/9	プロ野球公式戦招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	長良川球場(岐阜市)
5/14	岐阜ダルクチャリティーコンサート	後援	岐阜ダルク	カトリック岐阜教会(岐阜市)
6/2	岐阜県社会福祉施設「花いっぱい運動」贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内50施設
6/4	第13回NPO岐腎協大会	後援	岐阜県腎臓病協議会	不二羽鳥文化センター (羽鳥市)
7/2	県網膜色素変性症協会創立10周年記念式典	後援	県網膜色素変性症協会	長良川国際会議場(岐阜市)
7/2	聞こえのサポートフェア	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	地域交流センターはなもも (揖斐川町)
7/11~31	九州豪雨義援金受付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
7/18~20	大相撲名古屋場所に福祉施設関係者を招待	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	愛知県体育館(名古屋市)
8/1	社会福祉団体共催・助成金等 贈呈式	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	中日新聞岐阜支社(岐阜市)
8/18	第45回東海四県言語・難聴・発達障害児教育 研究大会岐阜大会	後援	同実行委員会	大垣市サイトピアセンター (大垣市)
8/25~27	東京ディズニーリゾートバス旅行	共催	岐阜市母子寡婦福祉連合会	東京ディズニーリゾート
8/27	学習会「災害に備える」	後援	NPO法人ぎふ難聴者協会	那加福祉センター(各務原市)
9/3	岐阜市母子寡婦福祉大会	後援	岐阜市母子寡婦福祉連合会	メディアコスモス(岐阜市)
9/24	「かがり火」要約筆記講習会	後援	NPO法人ぎふ要約筆記サークルかがり火	岐阜市民福祉活動センター (岐阜市)
9/24	第38回岐阜県視覚障害者福祉協会文化祭	後援	岐阜県視覚障害者協会	恵那市中央公民館(恵那市)
10/1	第22回長良川ふれあいマラソン大会	共催	長良川ふれあいマラソン大会実行委員会	木曾三川公園特設会場 (海津市)
10/7	平成29年度岐阜県特別支援学校体育連盟 チャレンジ陸上競技大会	後援	岐阜県特別支援学校体育連盟	メモリアルセンター(岐阜市)
10/8	「かがり火」要約筆記講習会	後援	NPO法人ぎふ要約筆記サークルかがり火	岐阜市民福祉活動センター (岐阜市)
10/21~22	第17回CPサッカー全日本選手権大会	後援	日本脳性麻痺7人制サッカー協会	長良川球技メドウ(岐阜市)
10/22	第51回岐阜県身体障害者飛騨ブロック体育大会	後援	岐阜県障害者スポーツ協会	桜ヶ丘体育館(飛騨市)
10/28~29	第31回言友会中部大会2017 IN 飛騨高山	後援	岐阜言友会	お宿「信田」(高山市)
11/4	2017全日本パラカヌー長距離選手権大会	後援	(一社)日本障がい者カヌー協会	長良川サービスセンター (海津町)
11/5	第51回岐阜県身体障害者福祉協会で濃地区体育大会	後援	岐阜県中濃ブロック身体障害者協会	郡上市合併記念公園(白鳥町)
11/12	第15回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ 岐阜大会	共催	岐阜県障害者スポーツ協会	メモリアルセンター(岐阜市)
11/13	花いっぱい運動冊子配布および感謝状贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県内60施設、協力団体
11/18	東海地区盲学校第24回球技大会	後援	東海地区盲学校体育連盟	県立盲学校(岐阜市)他

11/18	第26回中部手話スピーチコンテスト	共催	中部学院大学、 (社)岐阜県視覚障害者協会	中部学院大学(各務原市)
11/19	第5回美谷福祉セミナー	後援	(社福)美谷会	武芸川生涯学習センター (関市)
12/2~6	郷土の美術家ぎふ展	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	シネックスホール(岐阜市)
12/10	第2回県特別支援学校体育連盟駅伝競走大会	後援	県特別支援学校体育連盟	県百年公園(関市)
12/16~17	ろう劇団いぶき公演	後援	ろう劇団いぶき	岐阜メディアコスモス (岐阜市)
11/27~ 12/28	年末助け合い運動	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜支社と管内支局通信局部 及び中日新聞販売店
12/21	生活保護家庭の小中学生にお年玉贈呈	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
12/21	愛のともしび基金寄付	主催	中日新聞社会事業団岐阜支部	岐阜県庁
2/25	岐阜県母子寡婦福祉連合会 平成29年度母子部研修会	後援	岐阜県母子寡婦福祉連合会	羽島ふれあい会館(羽島市)

中日青葉学園

昭和35年4月、虚弱児施設として開設、児童福祉法改正に伴い、平成10年4月、児童養護施設に種別変更、平成15年10月、児童養護施設「あおば館」（定員70人）に新たに児童心理治療施設「わかば館」（定員35人）を加えた複合型児童福祉施設となった。園舎は平成15年、複合型施設に変わった際、全面改築し、あおば館は70人が男女別で集団生活する大舎制から、男女別で15人から18人が4つのグループで生活する中舎制に転換した。「社会的養護」は、児童を大きな集団で育てる「施設養護」から小さなグループで育てる「家庭的養護」へ変わり、あおば館は平成41年までに生活形態を全て小規模化する家庭的養護推進計画を立てた。第1弾として25年10月、中舎1ホームを小規模2ホームに改造。28年度は10月、中舎1ホームを小規模ホームにし、29年度の定員は60人で、41年度までには定員45人にする計画。29年8月に新しい養育ビジョンが出され、施設はより一層の小規模化が求められており、都道府県計画の見直しにより、学園の計画も見直しが迫られる。

開設当初から、敷地内に日進市立日進中学校・北小学校の青葉分校として学習棟を設け、生活と教育を一体化した児童支援に当たっている。青葉分校も平成18年5月に建て替えた。

29年7月から妹尾浩和副学園長が6代目の学園長に就いた。4月から寺井陽一療育指導部長が5代目のわかば館長となった。

（1）安全安心・権利擁護

児童福祉施設は、虐待など不適切な関わりを受けた子どもたちを預かる場として、子どもたちが「安全で安心して暮らせる」場所であることが求められている。子ども同士の「いじめ」「暴力」には適切に対応、被害が大きくなるように努めるため、「安全安心委員会」の名のもとに、関係職員が連携を取り対応に当たっている。月1回の避難・消火指導を行い、児童全体会で安全マップをもとに学園敷地内の遊び方、自転車の正しい乗り方などを伝えている。

被措置児童虐待防止に向け、児童間の暴力、職員から児童への不適切な関わりがないように、最優先事項として取り組んでいる。11月、あおば館職員が故意に子どもを蹴った。県・児童相談センターに報告、虐待とまでは認定されなかったが、戒告処分とした。研修をし、権利擁護への取り組みを再確認した。

（2）問題行動・事故

性化行動は、あおば館、わかば館各1件の計2件。小学校低学年で、遊びの延長から発展した。関係児童には、性教育の視点からケアにあたり、ホーム職

員の見回り等の徹底を強め、再発防止を図った。

児童間の暴力が、あおば館3件、わかば館1件あった。うち、あおば館は高校生から、わかば館は中学生から、それぞれ小学生らに暴力があり、ともに一時保護所で内省、振り返りをしたが、戻った後にも再発。退園した。

万引きはあおば館で6件発生。中高校生5人が関与。反省を促し、対象の各店にも謝罪に訪れた。ホーム内での盗難もあおば館で1件あった。無断外出は、わかば館で4件、玄関ガラスやベッドなど器物破損があおば館で2件、わかば館で4件あった。

自転車の衝突事故が4件あった。学園の坂道を走り降りるスピードの出しすぎが原因で、電柱にぶつかる自損事故だけにとどまらず、歩行者とぶつかってけがをさせたり、車と衝突（子どもは軽傷）したりするケースもあった。学園の正門へ通じる坂道は自転車に乗っての通行は禁止、自転車置き場から学園正門に通じる道の柵を常時閉門した。

あおば館のホーム旅行のスキーで2件の衝突事故があり、児童2人が軽傷。

それぞれの事案ごとに安全安心委員会として「聞き取り、背景分析、当事者への指導、関係者への報告・謝罪、再発防止検討」をした。

(3) 苦情・意見

「本校に登校したい、本校の部活動に参加したい」とのわかば館児童から訴えを受け、日進中学校と青葉分校に相談し、わかば館児童が本校登校、部活に参加できるようにする。

「王様ゲームをして嫌な思いをしている子がいる」との投書を受け、あおば館、わかば館の職員が連携し、個別に聞き取りを実施して事実確認と教育的指導を行う。あわせて、児童全体会で「王様ゲーム」ははじめにつながる不適切な遊びであることを伝える。このほか、学園児童から年間50件の苦情と意見があり、その多くが児童間でのトラブルの相談と訴えで、内容から特定できるものは、その都度職員が面談をして調整を行った。

(4) 合同職員研修

あおば館、わかば館両館の職員を対象に毎月の合同会議にあわせ研修を行っている。4月(新年度の心構え)5月(就業規則改定)6月(自立支援の現状と課題について)7月(食中毒予防)8月(新しい社会的養育ビジョンについて)9月(抑制について)10月(インフルエンザ対策)11月(バーンアウト対策)12月(ノロウイルス・インフルエンザ対策、被措置児童虐待)1月(30年学園目標)2、3月(新処遇援助システム導入について)。

5、6月に2班に分かれて、児童養護施設「風の色」と、心理治療施設「愛厚ならわ学園」を見学した。

▽5月に、児童自立支援施設の国立きぬ川学院の相澤孝予院長を招き、「性的被害を受けた子どもの理解と支援」についての講演を聴く▽6月に宮地菜穂子アスペルゲの会事務局長によるスタッフトレーニングを受ける▽30年1月には、中央児相の前田清センター長を招き「子どもの人権と施設の暮らし」について学んだ。

(5) ボランティア

福祉サービスの援助者として、また、地域に開かれた施設作りの一つとして学園ではボランティア活動に力を入れており、ボランティア組織「青葉友の会」が次のような活動を続けている。

▽「竹の子会」毎月第3月曜日に多目的ホールで児童の理美容奉仕▽「園十会」月2回、葉牡丹、チューリップなど季節の花壇づくり▽「ライラック」月8回児童の洗濯物や、衣類の繕い（児童インフルエンザ発症時は休止）▽「クローバー」月4回、大学生が幼児と小学生と遊ぶ▽「若葉グループ」社会人が青葉まつりなど各種行事への協力。

日本フラワーデザイナー協会愛知県支部が12月、クリスマスリース教室、3月、フラワーアレンジ教室を開いた。中日森友隊が12月、正面通路横植え込み整理と雑木林下草刈り活動など。

(6) 恒例行事

夏の目的別活動。▽A班 岐阜県郡上市川キャンプ（小学生）▽B班 あおば館多治見地球村▽C班 わかば館豊橋のんほいパーク▽D班 若狭海水浴（中・高生）▽E班 郡上市幼児キャンプの5グループに分かれて、バーベキューなどでも楽しんだ。

第20回青葉まつりは10月28日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、子どもたちが運営する模擬店などを楽しんだ。舞台では、あおば、わかば両館の児童、職員が10台の和太鼓で共演した。クリスマス会は12月22日、愛知中央ライオンズクラブ、もちつき大会は12月30日、ボランティアの協力を得て行った。

(7) 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」を3月17日、開いた。ことしの対象者は、あおば館は、高校生3人、中学生1人、幼児1人、わかば館は中学生5人、小学生2人の計12人が学校の卒業などで学園を退園。自立や家庭復帰したり里親委託された。卒園生は、思い出の写真を見ながら学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えた。日本フラワーデザイナー協会愛知県支部の協力で季節の花に囲まれて華やかだった。

(8) 学園見学

自治体、学校など次のような学園見学があった。4月には民進党の県議団が

学園を訪問。子どもの貧困問題に関連して学園から児童虐待問題などを説明した。

▽7月 大府市民生委員▽10月 岩倉市見学、瀬戸市民生委員▽11月 東光学園心理士▽12月 静岡大教授ら▽30年2月 刈谷市民生委員

(9) 職員表彰

▽勤続表彰 勤続5年のあおば館4人、わかば館1人を表彰

▽職員表彰 処遇援助システム構築にあたって尽力したあおば館、わかば館各1人を表彰する。(実際の表彰は、運用開始後)

(10) 施設整備

西側法面工事 中日青葉学園の西側敷地は、愛知県より土砂災害崩落危険個所に指定されるほど急傾斜で名古屋学芸大学デザイン学科の校舎と隣接している状況。

平成29年12月、名古屋学芸大から当法人に「雨天時に青葉学園から土砂の流入が見られる」との情報があったことから、取り急ぎ設計士に現状の確認、調査を依頼したところ樹齢30年～40年になるヒノキの森の手入れ不足や排水設備の不備があり、今後、大規模な土砂崩れや隣地への樹木の倒壊がおこる危険性が高いので処置が必要との意見書が提出された。

このことから、安全性を担保するため傾斜地の樹木を伐採し、伐採後に雑草の種子吹き付け、傾斜地上部と下部に雨水を流すための側溝埋設の工事を実施した。

退所支援施設のぞみ修繕工事 中日青葉学園あおば館の退所支援施設は、平成6年に建設され、現在まで自立を間近に控えた入所児童の自立のためのトレーニングや退所児童の里帰りの場として活用されてきたものの、老朽化から雨漏り、水回りからの漏水、外壁の痛み等が見られるようになった。

このことから平成30年2月から1か月程の工期で修繕工事を実施。今後も児童の自立の拠点として活用していく。

従来使っていた処遇援助システムのコンピューターのバージョン更新が迫っていることから見直しを検討。青葉学園が使っている申し送りなどの書類形式にあった形のシステムを構築する提案があったブルーオーシャンのシステムを採用。新年度から運用する。

(11) 調理

児童嗜好アンケートを継続し、メニュー作りに生かしている。「食育」としてあおば館ホームで職員が子どもと一緒に夕食作り、わかば館では、女子ホームでおやつ作りをしている。また、ホームキッチンの衛生状態、冷蔵庫の使用状況をチェック、賞味期限切れの食品がある場合は注意するなど衛生管理に当たった。食物アレルギーのあおば館幼児1人についてアレルギー食を用意、ホーム

では、アレルギー専門医に通院しながら食の改善を進めている。

(12) 大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館1人、あおば館退園生4人の計5人に支援金を給付した。

(13) 外部との関わり

11月に中日新聞社会事業団と名古屋学芸大学とが連携協定を締結。青葉学園の職員が、無料で同大の授業を受けることができるようになった。学園は、同大の保育実習生やボランティアの受け入れを積極的に実施する。

学園長をはじめ職員が各関連機関・団体の委員や講師として参加した。

11月、福祉フェスティバルにっしんに出展、パネルで学園紹介をした。

(14) その他

あおば館わかば館とも今年度は自己評価を行い、ケアの見直し、向上に努めている。あいち小児保健医療総合センター主宰の「性の問題について考える会」は、昨年度から学園が事務局を引き受け、今年度は4回、専門家の講演を聴いたり、施設での具体例を参考に施設、病院、児相関係者が対応を話し合っている。くらちゃんハウスが青葉まつりで模擬店を出すなど学園行事に参加したり、くらちゃんハウスへ職員を派遣し、ファミリーホーム支援連携をした。

児童養護施設あおば館

あおば館は、4月、中舎(15人)3ホームと小規模ユニット(7、8人)2ホームでスタート。中舎は2階男子「けやき」3階男子「ひのき」女子「もみじ」。小規模は2階「しらかば」(女子小学生以上)「さくら」(男女幼児)。

7月1日に、妹尾浩和があおば館長に就任。

職員26人、パート職員6人が児童のケアに当たった。

(1) 入所実績

あおば館の定員は60人。この1年間に新たに9人(男子4人、女子5人)が入所、8人(男子4人、女子4人)が退所した。

29年4月、小学校へ4人(女子4人)、中学校へ4人(男子4人)、高校へ4人(男子4人)それぞれ入学した。30年3月、小学校を3人(男子2人、女子1人)、中学校を5人(男子2人、女3人)、高校を2人(男子1、女子1人)が卒業。中学校を卒業した4人は高校へ進学、高校を卒業した1人は大学、1人は就職した。

29年度の延べ入所者は19,481人。一時保護は59人、延べ421日。日進市の子育てショートステイ事業の受け入れはなかった。

(2) 生(性)教育(安全安心)委員会

児童間のトラブル、性的な問題についてその都度、安全委員会として取り上げ、情報を共有、関係児童を指導して事が大きくなる前に芽を摘むようにしている。CAP暴力防止プログラムとして職員・幼児・小学校低学年・同高学年各ワークショップを行った。月1回性教育委員会を実施。性暴力や性問題の予防に努めている。

(3) 食育委員会

月1回、各ホームの職員、栄養士、調理員が集まり、「おいしく楽しく食事するためのマナー向上」について取り組んでいる。調理部と現場(子ども、職員)間で情報交換し、「子どもの声を調理部へ、調理部の声を子どもへ」と相互理解を深めている。クリスマス会などの行事では、子どもたちにアンケートを取り、栄養士と相談したうえでメニューを決めている。また、子どもたちの食について、個人の対応など細やかなことも相談できる環境があることは食育委員会の良いところである。各ホームでは、現場職員が夕食(ハンバーグ、オムライスなど)を作り、食事をした。

(4) 心理対応

常勤1人、非常勤1人の心理士2人体制。カウンセリングやプレイセラピー、SST(怒りのコントロール)などの個別心理療法を16人に実施。小学生高学年に

対して、集団心理療法「心の教室」を15回実施した。また、学園近くの相山女学園大学心理臨床相談室の協力で1人が同大学へ赴き、心理療法を受けた。

(5) 個別対応と家庭支援

個別対応職員と家庭支援専門員が児童と保護者の支援に当たっている。個別対応として被虐待児童18人に細やかな生活援助を実施、家庭支援は保護者と児童が再び一緒に暮らせるよう関係調整を進めていくもので11人が家庭復帰した。保護者がいても帰省できない児童について、わかば館家族療法室や退所支援施設「のぞみ」で保護者と児童が生活を共にした。

(6) 退所者支援

退所後、就職で対人関係などの不適応から退職した人へ生活場所の確保、再就職の斡旋をはじめた。退所後も応援が必要な男女6人を継続して支援している。お盆、年末年始など中長期休暇期間には退所者が来園、退所支援施設「のぞみ」などで宿泊した。

(7) 職員研修

職員の援助技術の向上を図るため、全国児童養護施設協議会、中部児童養護施設協議会、愛知県社会福祉協議会、愛知県児童福祉施設長会、全国児童養護問題研究会、子どもの虹情報研修センター主催の各種研修、子どもの虐待防止セミナー、性教育、心理職研究会などの研修に参加した。6月の中養協愛知大会では、「自立支援の現状と課題」をテーマに、高校生の中退者対策などについて発表した

(8) 実習生

実習生受け入れは保育実習63人、社会福祉援助技術実習11人、心理実習18人、介護等体験10人。

(9) 学習

高校進学を目指す中学生6人が近くの塾へ通い、学習指導を受けた。小学生18人が週2回、ボランティア2人の協力で公文式学習をした。

(10) スポーツ活動

8月の児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボールで3位。卓球は中高生女子の部で準優勝。12月の施設長会フットサル大会で中高生の部で3位。2月の親善マラソン大会には、子どもが24人参加、6人が6位入賞した。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「社会福祉実習の受け入れ」「教員養成介護体験」「福祉人材育成」「福祉避難所」「被

虐待児の受け入れ」「一時保護」「里親支援」「退所児童支援」「家庭的養護の推進」の9項目で8ポイントを得た。

(12) 子ども会

地域との交流活動として、小学生7人（希望者 男子3人、女子1人）が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、映画鑑賞、ボウリング、歓送迎会に参加した。施設として園車や行事などでの道具の貸し出しで協力している。

(13) 家庭的養護推進計画

推進計画の前期（27年から31年）では、29年60人、30年55人、31年51人と段階的に減らす計画。

児童心理治療施設わかば館

青葉学園は一つの理念のもと「われらが学園、子どもとともにあり、子どもに寄り添い、子どものニーズにこたえる」をスローガンに、あおば館との連携を図り子どもの支援を行った。

わかば館は、「もえぎ」(男子)「あさぎ」(女子)の2ホームで子どもの生活を支える。4月には、これまで6年3ヶ月館長を務めた近藤日出夫さんが退職、新館長として寺井陽一が就任。指導療育部長、指導課長以下、指導員、保育士12人、臨床心理士6人、看護師1人、パート職員1人が支援している。

「生活の質の向上を図るなかで未来に希望の持てる日常を取り戻す」を目標に掲げ臨んだ。無断外出、自傷行為、児童・職員への暴力など厳しい対応に追われながら、職員のチームワークで子どもを支えることができた。

(1) 入退所実績

わかば館定員は35人(暫定定員34人)。この1年間に新たに17人(男子7人、女子10人)が入所、15人(男子7人、女子8人)が退所した。29年4月、中学校へ4人(男子1人、女子3人)が入学した。30年3月、小学校を5人(男子3人、女子2人)、中学校を5人(男子2人、女子3人)が卒業した。中学校を卒業した5人は高校へ進学、男子1人は家庭復帰し、男子1人は不登校治療のため入寮制の黄柳野高校に初めて進学し、女子3人はわかば館から通学する。

29年度延べ入所者は11,117人。一時保護は18人(男子8人、女子10人)延べ339日。

(2) 心理対応

不登校や情緒不安定な児童のほか、最近は発達障害児や重篤な虐待を受けた児童が増え、生活場面で特別な配慮が求められることが多くなっている。心理職6人が、わかば館1階の治療棟で1回45分の個別の関わりを行った。子どもと心理士の関係性を基盤に日常生活の生きづらさに折り合いがつけられるよう心理士の知見を基にアプローチした。また、指導員、保育士と子どもの見立てについて協働し、生活全体が治療的環境になるように整えた。

また、非常勤の精神科医2人には児童との面談、カンファレンスへの出席、行事への参加など、多様な側面から児童との関わり持ってもらい、児童の状態の見立てや療育方法についてのスーパーバイズを受けた。加えて、職員との面談を通して職員のメンタルヘルスについてもアドバイスを受けた。

(3) 家庭支援

児童一人一人のケアプランに従って生活指導、心理治療に当たっているが、成育歴など状況を調査検討するインテークを実施し家庭復帰に備えた。

被虐待児童が増えたことから、家族再統合に向け家庭支援専門員と生活担当職員が保護者支援にあたり、1人が社会自立、3人があおば館に措置変更、6人が家庭復帰を果たした。

(4) 児童支援

医療機関との連携も密に行い、毎月1～2回半数以上の子どもが通院（あいち小児保健医療総合センター、北津島病院、上林記念病院、愛知県精神医療センター、愛知県コロニー、月下香庵）し、治療効果を向上させた。同センターでの年1回の定期カンファレンス（援助検討会）と各病院との個別カンファレンス・ネットワーク会議に職員3～5人が参加、日々の療育や心理社会的治療に役立てた。

日々の取り組みでは、男子女子児童ともに、わかばの暮らしをよくするために「もえぎ会議・あさぎ会議（ガールズミーティング）」を毎日、全員で実施し、一日の振り返りと自分たちの生活の向上を目的に、日課について話し合いや入浴時間などの見直しを行った。また、暴力についての解決方法を話し合った。

中学を卒業し、戻る場が無く高校へ進学した児童については、わかば館から進学できるように支援を行った。また、高校の登校が難しい児童については、学園で初めて全寮制高校進学を認め自立支援を実施した。

(5) 職員研修

児童指導員、保育士、心理士、看護師20人が、全国児童心理治療施設協議会が主催する研修会をはじめ、専門性の高い各分野の研修に参加した。受講後は、職員会議でその成果を発表、情報共有に努めた。

中部ブロックの児童心理治療施設5施設との共同研修として心理部会を年2回、生活部会を年2回、持ち回りで開き、交流を深めながら具体的なケース報告を指導にいかした。また、中部ブロック職員研修運営委員会は伊藤指導員が研修運営委員として活動した。

あいち小児保健医療総合センター新井ドクターの依頼を受け「性問題について考える会」の事務局として、児童施設の性の見守りの向上を目的に運営を行った。

(6) 実習生

実習生受け入れでは、保育士実習31人、社会福祉士実習9人、教員免許特例介護体験12人、看護実習58人の実習を行った。

(7) 学習

担当職員を中心に、高校受験生の男子2人、女子2人に受験環境を整えると共に個別対応を実施し、希望校合格につながった。

中学生の週4回の学習時間には、学習が苦手の子どもに対し学習習慣の習得を目的に中日春秋の書き写しを実施した。

(8) 生活訓練

家庭復帰や就職しての寮生活に向け家族療法室を使い、買い物、調理、洗濯など日常生活を体験。バス、地下鉄の切符を自分で購入する外出のほか、児童がスーパーで材料を購入して料理やお菓子を作った。

「セカンドステップ」は、暴力や暴言を減らし、安心安全な自己表現の促進を目的に、小学生高学年を対象に年12回実施した。

(9) スポーツ活動

愛知県児童福祉施設入所児童夏季球技大会（県児童福祉施設長会主催）では、ソフトボール2部に1チーム参加し初戦同点引き分けで抽選で敗れたが健闘を見せた。卓球は団体戦と個人戦に参加し、ベストを尽くした。

親善マラソンには小中学生が参加し、全員が完走を果たした。

(10) 和太鼓同好会

わかば館児童とあおば館児童の合同で、青葉まつりなど各種のイベントの機会を通して太鼓演奏を披露している。言語で表現が苦手な児童は太鼓を叩き、リズムに合わせて音楽を奏することで、相互の協調性や連帯感を育むことに寄与し、生活に意欲を生み出している。

(11) 福祉事業ポイント

愛知県民間社会福祉施設運営費補助制度の福祉事業ポイント加算では、「福祉人材育成」「教員養成介護体験」「福祉避難所」「社会福祉実習受け入れ」「一時保護委託の実施」「被虐待児の受け入れ」「家庭復帰支援」「退所支援事業」「保護者支援事業」の9項目で9ポイントを上げた。

中日青葉学園人員構成

▽職員構成・職員数（平成30年3月1日現在）

あおば館 (児童養護施設)	人員	担当職務
館長（学園長）	1	運営管理
指導課長	1	指導統括
指導係長	2	生活指導
事務課長	1	わかば館兼務
指導員・保育士	16	生活指導
主任心理士	1	心理治療（生活指導）
栄養士	1	栄養管理
給食係	3	給食実務
嘱託医	1	健康診断
非常勤	5	生活指導補助、心理治療、幼児教育、事務
小計	32	
小計	30	
わかば館 (児童心理治療施設)	人員	担当職務
館長	1	運営管理
医師（非常勤）	3	医療業務
指導療育部長	1	統括（あおば館兼務）
指導課長	1	指導統括
指導係長	1	生活指導（統括）
主任指導員・保育士	1	生活指導
指導員・保育士	10	生活指導
事務	1	経理事務
看護師	1	健康管理
心理係長	1	心理統括（生活指導）
心理士	4	心理治療（生活指導）
給食係	4	給食実務
非常勤	3	生活指導補助
小計	32	
合計	64	

▽児童数（平成30年3月1日）

施設別	性別	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
あおば館	男子	5	6	10	6	0	27
	女子	3	16	4	5	0	28
わかば館	男子	0	8	7	1	0	16
	女子	0	7	7	2	0	16
計		8	37	28	14	0	87

中日青葉学園主な行事

開催日	事業名
4月 6日	北小学校入学式(4人)、高校入学式(5人)
7日	日進中学校入学式(8人)
28日	青葉分校スポーツフェスティバル
29日	「つつじの会」タイムカプセル埋設 創立60周年に開封
5月 3～6日	GW外出・お菓子の城、名港水族館など
18日	職員研修第1班(風の色、ならわ学園) 第2班6月15日
25、26日	中部児童養護施設協議会総会
31日	施設長会総会・児相センター長合同会議
6月 3日	北小学校運動会
7～9日	中部ブロック児童養護施設・乳児院研究協議会愛知大会
17日	青葉スポーツ大会、ボランティア活動
7月 2日	大相撲田子の浦部屋けいこ見学
24、25日	目的別活動A岐阜県郡上市川キャンプ
27、28日	目的別活動Bあおば館多治見地球村
	Cわかば館豊橋のんほいパーク
29日	元中日選手の小田さんらによる野球教室
31、8月1日	目的別活動D福井県若狭湾海キャンプ
8月2、17、18日	高校生交流会I部
3日	和太鼓ワークショップ 参加
3、4日	目的別活動E岐阜県郡上市幼児キャンプ
11日	志多ら 瀬戸公演見学
21日	施設長会ソフトボール大会参加(あおば館1部3位)
23日	施設長会卓球大会参加(あおば館A団体準優勝)
25日	新聞に掲載された動物の写真を使った「新聞動物園」教室
28日	ドッグ訪問
31日	わかば祭り
9月 1日	日進中学校体育大会
9日	中部善意銀行 USJ招待
26日	日産労連 人形劇公演
10月 8日	韓国青年商工会による焼き肉訪問
22日	スターターズセミナー
23日	クラウドファンディングによる歌舞伎招待
28日	第21回青葉まつり

- 11月 1、2日 日進中文化祭
 8～10日 全養協鳥取大会
 17日 北小学校学習発表会
 19日 音楽の集い穂の国大会(豊川市)に参加
 23日 中華料理訪問
- 12月 2日 NFDクリスマスリース教室、西小マス釣り招待
 9日 中日森友隊園内整備
 22日 クリスマス会
 23日 スケート招待
 25日 施設長会フットサル大会あおば館中高生の部3位
 30日 もちつき大会
- 1月 1日 猿投神社初詣
 13、14日 伊那スキー村に参加
 27日 スターターズセミナー
- 2月 3日 寿し正さんの恵方巻き
 4日 施設長会親善マラソン大会、テーブルマナー教室
 12日 年度末旅行けやき治部坂スキー場
 13日 年度末旅行さくらアンパンマンミュージアム
 17日 年度末旅行ひのき鷲ヶ岳スキー場、もみじナガシマスパーランド
 24日 年度末旅行しらかば、USJ、レゴランドわかば館ラグーナテンボス
 25日 旅立ちセミナー参加
 27日 UFJ自立支援セミナー
- 3月 1日 高校卒業式
 6日 日進中学校卒業式
 16日 フラワーアレンジメント教室
 17日 巣立ちの会、卒園パーティー、離任式、
 18日 愛知中央ライオンズものまねランチショー招待
 20日 北小卒業式
 24日 日進ベタニヤ幼稚園卒園式
 27日 らあめん訪問
 29日 いちご動物園
 30日 愛知県児童福祉施設長会総会

主な行事の写真



タイムカプセル埋設(4月29日)



目的別活動海キャンプ(7月31日、8月1日)



和太鼓ワークショップ参加(8月3日)



ソフトボール大会あおば館1部3位(8月21日)



新聞動物園(8月25日)



ドッグ訪問(8月29日)



音楽の集い(11月19日)



クリスマスリース教室(12月2日)



スケート招待(12月23日)



フットサル大会(12月25日)

高額寄付(一般)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
愛知日産自動車(株)	名古屋市	協栄興業(株)	東海市
(株)大矢相互不動産	稲沢市	松本三良記念福祉会	東海市
国際ソロプチミスト福井	福井市	トヨタ紡織 飛躍の会・飛躍の会・ 工の会	刈谷市
KDDI(株)中部総支社	名古屋市	(株)真城ホールディングス	名古屋市
税理士法人のぞみ	名古屋市	新東工業(株)	名古屋市
(公社)日本ダンス議会 中部総局	名古屋市	名古屋トヨペット(株)	名古屋市
やまびこ会	田原市	名古屋美術商協同組合	名古屋市
庄内川ゴルフ倶楽部	名古屋市	加藤等	名古屋市
全ヤマナカ労働組合	名古屋市	名古屋千種ロータリークラブ	名古屋市
中央電気工事(株)	名古屋市	鈴木煉瓦(株)	安城市
ネットトヨタ東海(株)	名古屋市	昼川三津男	刈谷市
(株)平安閣	名古屋市	名古屋競馬(株)	名古屋市
ヤマトホールディングス(株)	東京都	豊川閣妙厳寺(豊川稲荷)	豊川市
ミッドランド税理士法人アライアンス	四日市市	稲沢市職員互助会	稲沢市
おおやま歯科医院	名古屋市	五月会	名古屋市
ジュニアチャリティカップ実行委員会	名古屋市	棟安孝子	名古屋市
あいち知多農業協同組合(JAあいち知多)	常滑市	河合純夫	豊橋市
知多信用金庫	半田市	鞍馬山別院 弘恵寺	豊田市
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	豊田市文化振興財団	豊田市
荒川光夫	名古屋市	第28回歳末チャリティー作品展実行委員会	
(株)善都	豊田市	尾西作家協会	一宮市
愛知県トヨタ会	名古屋市	齋藤敏彦	春日井市
名古屋駐車場案内システム協会	名古屋市	大須年忘れチャリティー歌合戦実行委員会	名古屋市
トヨタカローラ愛知(株)	名古屋市	ネットトヨタ中部(株)	名古屋市
日本生命労働組合 名古屋南支部	名古屋市	愛知トヨタ労働組合	名古屋市
近藤産興(株)	名古屋市	日本特殊陶業(株)	名古屋市
熊谷電工(株)	彦根市	愛知県経済農業協同組合連合会	名古屋市
東郷産業(株)	名古屋市	スマイル&グッド(株)	刈谷市
国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市	愛知県中古自動車販売商工組合	飛鳥村
(公社)中部日本書道会	名古屋市	岡崎竜城ライオンズクラブ	岡崎市
東郷産業(株)	名古屋市	藤田保健衛生大学病院	豊明市
国際ソロプチミスト名古屋	名古屋市		

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(一般)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)敬称略、順不同

北陸支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
石川交通(株)	金沢市	東海エレクトロニクス(株)	名古屋市
こぼと保育園・第2こども園	小松市		

東海支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
浜松現代書作家クラブ	浜松市	浜松倉庫株式会社	浜松市
第36回ふるさと知名人チャリティー色紙展	浜松市	センチュリー21 アベル株式会社	浜松市
竜ヶ岩洞	浜松市	浜松ロータリークラブ	浜松市
浜松仏教会	浜松市	株式会社ユタカ技研 豊和会	浜松市

東京支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
木村則子	東京都北区	川崎野球協会本部審判部	川崎市
清水辰吉	安中市	「小さな親切」運動ちばぎん支部	千葉市

岐阜支部 (10万円以上)			
寄付者名	市町村名	寄付者名	市町村名
(株)イーグルスタッフ	岐南町	岐阜県指定自動車教習所協会	岐阜市
森ビル都市企画	岐阜市	ぎふ国際高校	岐阜市
中部日本書道会岐阜支部	岐阜市	岐阜信用金庫	岐阜市
中部日本書道会濃飛支部	中津川市	全日本ロータス同友会岐阜支部	岐阜市
NTT岐阜グループボランティアサークル	岐阜市	酒井恵美子	白鳥町
岐阜ゾンタ	岐阜市	高山市図書館指定管理者 図書館流通センター	高山市
美濃善不動産	岐阜市		

*匿名は省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)敬称略、順不同

本 部 (20万円以上)		
団体名(会社名)	市町村名	贈呈先
(株)名西運輸	名古屋市	中日青葉学園
今枝久美子	名古屋市	中日青葉学園
東晃鋼業(株)	飛島村	中日青葉学園
中日新聞印刷(株)	北名古屋市	中日青葉学園
成田山名古屋別院大聖寺	犬山市	難病者激励金
成田山「索の会」	犬山市	難病者激励金
(株)豊田自動織機	刈谷市	大相撲名古屋場所招待
名古屋溜会	名古屋市	大相撲名古屋場所招待
大本山永平寺名古屋別院	名古屋市	東日本復興支援金
中央電気工事(株)	名古屋市	東日本復興支援金
水谷興業(株)	東海市	東日本復興支援金
協栄会・協友会	東海市	東日本復興支援金
有松しほり祭り実行委員会 名古屋情報専門学校	名古屋市	東日本復興支援金
(株)アサヒハウジング	日進市	東日本復興支援金
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知日野自動車(株) 親和会	名古屋市	東海交通遺児を励ます会
愛知県中古自動車販売商工組合	飛島村	東海交通遺児を励ます会
チャリティーアントニオ古賀とゆかいな仲間	名古屋市	中部盲導犬協会
徳弘妙子	名古屋市	中部盲導犬協会
名古屋栄ライオンズクラブ	名古屋市	日本介助犬協会
東冷設備工業(株)	名古屋市	日本介助犬協会
セントポーリアの会	日進市	UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)
桑名石取祭保存会	桑名市	あしなが育英会(震災遺児支援)
(一社)愛知県指定自動車教習所協会	名古屋市	脳下傷友の会みずほ
西浦不動 無量寺	蒲郡市	がん撲滅

* 東日本大震災義援金、九州北部豪雨災害義援金の高額寄付者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

高額寄付(災害・指定)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)敬称略、順不同

東海支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
ネットヨタ浜松(株)懇話会	浜松市	交通遺児義援金
ニットハウスローズガーデン	浜松市	和光寮(児童養護施設)

*東日本大震災義援金、九州北部豪雨災害義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

東京支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
ボーイスカウト台東第7団	東京都台東区	メキシコ地震

*東日本大震災義援金、九州北部豪雨災害義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

岐阜支部 (10万円以上)		
寄付者名	市町村名	贈呈先
岐阜中日会(新聞販売店会)	岐阜市	花いっぱい運動
岐阜県遊技業協同組合	岐阜市	花いっぱい運動
岐阜社会福祉事業協力会	岐阜市	花いっぱい運動

*東日本大震災義援金、九州北部豪雨災害義援金の高額寄託者は多数のため、また匿名も省かせていただきました

社会福祉法人 **中日新聞社会事業団**

	所在地
本部事務局	〒460-8511 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 中日新聞名古屋本社内 Tel. 052-221-0580 Fax. 052-221-0839
北陸支部	〒920-8573 石川県金沢市駅西本町二丁目12番30号 中日新聞北陸本社内 Tel. 076-233-4644 Fax. 076-233-7831
東海支部	〒435-8555 静岡県浜松市東区葉新町45番地 中日新聞東海本社内 Tel. 053-421-6217 Fax. 053-421-5987
東京支部	〒100-8505 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号 中日新聞東京本社内 Tel. 03-6910-2520 Fax. 03-3503-1438
岐阜支部	〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地 中日新聞岐阜支社内 Tel. 058-265-0283 Fax. 058-263-7010
児童養護・児童心理治療施設 中日青葉学園	〒470-0131 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164 Tel. 0561-72-0134 Fax. 0561-74-2315